

# Altova LicenseServer

ユーザーマニュアル

# Altova LicenseServer ユーザーマニュアル

All rights reserved. No parts of this work may be reproduced in any form or by any means – graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or information storage and retrieval systems – without the written permission of the publisher.

Products that are referred to in this document may be either trademarks and/or registered trademarks of the respective owners. The publisher and the author make no claim to these trademarks.

While every precaution has been taken in the preparation of this document, the publisher and the author assume no responsibility for errors or omissions, or for damages resulting from the use of information contained in this document or from the use of programs and source code that may accompany it. In no event shall the publisher and the author be liable for any loss of profit or any other commercial damage caused or alleged to have been caused directly or indirectly by this document.

公開日: 2015–2021

(C) 2015–2021 Altova GmbH

---

# 目次

<b>1</b>	<b>LicenseServer によろこそ</b>	<b>6</b>
<b>2</b>	<b>一般的な情報</b>	<b>7</b>
2.1	Altova ライセンスの種類.....	8
2.2	プロセッサコアとライセンス.....	10
2.3	ネットワーク情報.....	12
2.4	中央サーバー上の Altova 製品.....	15
2.5	Altova ServiceController (Windows のみ).....	16
2.6	フェールオーバー LicenseServer.....	17
2.7	ライセンスのチェックアウト.....	19
2.8	LicenseServer の更新.....	20
2.9	新規の LicenseServer へライセンスを移動する方法.....	21
2.10	パスワードのリセット.....	22
2.11	SSL 暗号化.....	23
2.11.1	CA から証明書を取得する.....	23
2.11.2	秘密キーの必要条件.....	25
2.11.3	LicenseServer のために SSL を有効化する.....	26
<b>3</b>	<b>LicenseServer のインストールと開始(Windows)</b>	<b>29</b>
3.1	LicenseServer のインストール (Windows).....	30
3.2	LicenseServer をサービスとして開始する (Windows).....	32
3.3	LicenseServer の構成ページの開きかた (Windows).....	33
<b>4</b>	<b>LicenseServer のインストールと開始 (Linux)</b>	<b>36</b>
4.1	LicenseServer のインストール (Linux).....	37
4.2	LicenseServer をサービスとして開始する (Linux).....	40
4.3	LicenseServer の構成ページの開きかた (Linux).....	41

---

<b>5</b>	<b>LicenseServer のインストールと開始 (macOS)</b>	<b>43</b>
5.1	LicenseServer のインストール (macOS).....	44
5.2	LicenseServer をサービスとして開始する (macOS).....	46
5.3	LicenseServer の構成ページの開きかた (macOS).....	47
<b>6</b>	<b>製品の登録と登録の解除</b>	<b>49</b>
6.1	Altova デスクトップ製品の登録.....	50
6.2	DiffDog Server の登録.....	51
6.3	FlowForce Server の登録.....	52
6.4	MapForce Server の登録.....	57
6.5	MobileTogether Server の登録.....	59
6.6	RaptorXML(+XBRL) Server の登録.....	61
6.7	StyleVision Server の登録.....	63
6.8	製品の登録の解除.....	65
<b>7</b>	<b>製品ライセンスのアップロードと認証</b>	<b>66</b>
7.1	製品ライセンスの LicenseServer へのアップロード.....	67
7.2	ライセンスの有効化/無効化.....	68
7.3	ライセンスの状態.....	69
<b>8</b>	<b>製品ライセンスを割り当てる方法</b>	<b>71</b>
8.1	登録された製品へのライセンスの割り当て.....	72
8.2	ライセンスの割り当ての解除.....	75
8.3	割り当て済みのライセンスの編集.....	76
<b>9</b>	<b>構成ページ レファレンス</b>	<b>78</b>
9.1	ライセンスプール.....	79
9.2	クライアント管理.....	82
9.2.1	ライセンスの割り当て.....	83
9.2.2	評価ライセンスのリクエスト.....	85
9.2.3	製品とクライアントの登録の解除.....	87

---

9.2.4	異なる名前で登録されている1台のマシン.....	87
9.3	クライアントの監視.....	89
9.4	設定.....	90
9.4.1	メンテナンス.....	90
9.4.2	フェールオーバー LicenseServer 設定.....	91
9.4.3	LicenseServer パスワード.....	93
9.4.4	接続のテスト.....	93
9.4.5	ライセンスのチェックアウト.....	93
9.4.6	Web UI.....	94
9.4.7	プロキシサーバー.....	95
9.4.8	ライセンスサービス.....	95
9.4.9	通知メール.....	96
9.4.10	その他.....	98
9.5	メッセージ、ログアウト.....	99

## インデックス

100

# 1 LicenseServer によるこそ

**Altova LicenseServer** (今後は略して **LicenseServer** と称されます) は、Altova 製品のライセンスを集中して中央管理する場所です。ネットワークで作動する Altova アプリケーションは LicenseServer からライセンスを割り当てられます、ですから、管理者はライセンスを管理及び監視する柔軟性を有します。

## 現在のバージョン: 3.6

\* LicenseServer 3.6 は、以下にライセンスを与えるために使用することができます (i)バージョン 2021r2 または以降の Altova ソフトウェア製品、および(ii) Altova Mobile Together Server バージョン 7.2 または以降。メモ内でリストされるものよりも新しい Altova 製品バージョンにライセンスを供与するには使用することができません。互換性に関する詳細は、[LicenseServer の更新](#)<sup>20</sup> を参照してください。

## ライセンスプロセッサ

LicenseServer を無料で Altova Web サイトからダウンロードすることができます。LicenseServer を正確にインストールした後、サービスとして起動します。Altova 製品にライセンスを割り当てるプロセッサは以下の通りです:

1. LicenseServer に [Altova 製品を登録します](#)<sup>49</sup>。Altova 製品から登録を行うことができます。
2. LicenseServer のライセンスプールに [Altova 製品ライセンスをアップロードします](#)<sup>67</sup>。
3. 登録済みの製品に [アップロードされている製品ライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

使用することのできる機能に関しては、[一般的な情報のセクション](#)<sup>7</sup> と [構成ページのレファレンス](#)<sup>78</sup> を参照してください。

## このドキュメントについて

このドキュメントは、以下のパートに整理されています:

- [一般的な情報](#)<sup>7</sup>
- [Windows](#)<sup>29</sup>、[Linux](#)<sup>36</sup> と [macOS](#)<sup>43</sup> 上のインストールとセットアップ
- [製品を LicenseServer に登録、および登録の解除](#)<sup>49</sup>
- [製品ライセンスをアップロードしてアクティブ化する方法](#)<sup>66</sup>
- [製品ライセンスを割り当てる方法](#)<sup>71</sup>
- [構成ページのレファレンス](#)<sup>78</sup>

最終更新日: 2021年02月24日

## 2 一般的な情報

このセクションにはLicenseServerに関する一般的な情報が含まれています。

- [Altova ライセンスの種類](#) <sup>8</sup>
- [プロセッサコアとライセンス](#) <sup>10</sup>
- [ネットワーク情報](#) <sup>12</sup>
- [中央サーバー上のAltova 製品](#) <sup>15</sup>
- [Altova ServiceController](#) <sup>16</sup>
- [フェールオーバーLicenseServer](#) <sup>17</sup>
- [ライセンスのチェックアウト](#) <sup>19</sup>
- [LicenseServer の更新](#) <sup>20</sup>
- [新規のLicenseServerにライセンスを移動する](#) <sup>21</sup>
- [パスワードのセット](#) <sup>22</sup>
- [SSL 暗号化](#) <sup>23</sup>

## 2.1 Altova ライセンスの種類

### Altova デスクトップ製品

デスクトップユーザーライセンスは以下の種類が存在します:

- **インストール済みのライセンス** 各ライセンスは指定されたコンピュータの数のために使用されます。例えば、10-インストール済みのライセンスを購入した場合、10 台までのコンピュータでソフトウェアをインストール、使用することができます。
- **同時ユーザー**  $n$  同時実行ユーザーのためのライセンスは  $n$  より以下が許可されます: (i) **10n** 台のコンピュータへインストールすることができます (ii)  $n$  人までのユーザーが一度に同時にソフトウェアを使用することができます。例えば、20 同時実行ユーザーライセンスを購入すると、ソフトウェアを 200 台のコンピュータまでインストールでき、20 台のコンピュータで一度に使用することができます。
- **名前付きユーザー** 名前付きユーザーライセンスは、購入されたライセンスのための数量に一致するソフトウェアを使用する特定のユーザーの数を承認します。例えば、ライセンスが 5 つの名前付きユーザーを承認すると、5 名の名前付きユーザーがソフトウェアを使用することができます (名前付きのユーザーに関するノートを参照してください)。名前付きのユーザーライセンスは 5 台までの異なるコンピュータ上で使用するための特定のユーザーを認証します。

**メモ** インストール済みのライセンスと同時実行ユーザーライセンスの場合、LicenseServer は、マシンのホスト名、または IP アドレスを使用してライセンスを割り当て、割り当て済みのライセンスのカウントを保ちます。クライアントの認識プロセスに関する詳細は、[ネットワーク情報](#)<sup>12</sup> を参照してください。

**メモ** LicenseServer にソフトウェアを登録する際、(他の登録データと共に)ソフトウェアを登録したユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) も登録されます。名前が付けられているユーザーライセンスは UPN に割り当てられます。UPN がライセンスを受け取ると、この UPN を持つユーザーはこの UPN を使用してネットワーク上のマシンにログインして、ソフトウェアを使用することができます。このライセンスを使用して、ですから、UPN を使用してログイン、ユーザーは (仮想環境を含む) ネットワーク内の異なるコンピュータで作業することができます。クライアントの認識プロセスに関する詳細は、[ネットワーク情報](#)<sup>12</sup> を参照してください。

**メモ** v2019sp1 または以前のデスクトップ製品のために作成された名前を持つユーザーライセンスは Altova LicenseServer を介してライセンスの供与を受け取ることができません。これらのバージョンのライセンスを供与する方法に関しては、インストールされた製品のパッケージされているドキュメンテーションを参照してください。

#### Altova デスクトップ製品のリスト

Authentic Desktop, DatabaseSpy, DiffDog, MapForce, SchemaAgent, StyleVision, UModel, XMLSpy.

### Altova MissionKit ライセンス

[Altova MissionKit](#) は Altova デスクトップ製品の [パッケージ](#) です。Altova MissionKit ライセンスは、MissionKit / パッケージ内のデスクトップ製品の個別のライセンスから構成されています。これら個別の製品ライセンスは、異なる、一意のキードが存在しますが、同じ MissionKit / ベンドル ID を有しています。Altova MissionKit ライセンスライセンスポールにアップロードすると、個別の製品ライセンスが ([Altova MissionKit](#) [GUI](#)<sup>80</sup>) のロカそれぞれライセンスの横に表示され、ライセンスポール内に表示されます。これらの製品ライセンスの一つを特定のクライアント (マシン、または、名前を持つユーザー) に割り当てると、MissionKit / ベンドルの他の製品もそのクライアントに割り当てられます。この結果、その特定の MissionKit / ベンドルの他の製品は他のクライアントに割り当てられることができません。これらの製品ライセンスの一つを特定のクライアント (マシン、または、名前を持つユーザー) に割り当てると、MissionKit / ベンドルの他の製品もそのクライアントに割り当てられます。この結果、その特定の MissionKit / ベンドルの他の製品は他のクライアントに割り当てられることができません。

#### Altova MissionKit 製品のリスト

DatabaseSpy, DiffDog, MapForce, SchemaAgent, StyleVision, UModel, XMLSpy。

## Altova サーバー製品

サーバーソフトウェアがインストールされているコンピュータの物理的なコアをベースとしてすべてのサーバー製品のライセンスは供与されています。

- 各ライセンスはライセンス供与されているコアの数量を指定します。
- $n$  つの数量のコアを持つコンピュータにサーバー製品がインストールされている場合、ライセンスは  $n$  つ、または、それ以上のコアを認証する必要があります。例えば、RaptorXML Server が 8 コアを持つコンピュータにインストールされている場合、RaptorXML Server ライセンスは 8 つまたはそれ以上のコアを認証する必要があります。
- ライセンスを必要なコア数に達するまで組み合わせることができます。例えば、RaptorXML Server が 8 コアが存在するコンピュータにインストールされている場合、それぞれ 4 つのカウントのコアを持つ、2 つの RaptorXML Server ライセンスを使用することができます。

**メモ** Altova サーバー製品を仮想マシン上で実行する方法 (i) 仮想マシンが一意に識別することができる安定した IP アドレス、または、ホスト名を有している必要があります。(ii) Altova サーバー製品は少なくとも、ホストマシンにより仮想マシン割り当てられている仮想プロセッサの数のライセンスの供与を受けている必要があります。

### Altova サーバー製品のリスト

DiffDog Server, FlowForce Server, MapForce Server, MobileTogether Server, RaptorXML(+XBRL) Server, StyleVision Server.

## 異なる LicenseServers を使用するシナリオ

[ライセンスプール](#)<sup>79</sup> のライセンスプールは以下のいずれかを含むことができます:

- **グループ 1 ライセンス** インストール済みライセンス、および/または同時進行のユーザーライセンス、および/または、サーバー製品ライセンスまたは
- **グループ 2 ライセンス** 名前が付けられているユーザーのライセンス。

両方のグループからライセンスを使用する場合、個別の LicenseServer を各グループのために使用する必要があります。両方のグループからライセンスを使用する場合、個別の LicenseServer を各グループのために使用する必要があります。LicenseServer がライセンスプール内に両方のグループからのライセンスが存在する状況を検知すると、これを通知し、適切なステップを推薦します。(通常、ライセンスのグループをこのグループ専用の個別の LicenseServer に移動します)。

(通常、ライセンスのグループをこのグループ専用の個別の LicenseServer に移動します)。

異なるライセンスの種類のために LicenseServers を区別することが強く奨励されています。個別の LicenseServer を 3 つのライセンスの種類のために個別に使用することが奨励されています: (i) クライアントに対応する種類のライセンスを確認し、(ii) 正しい種類のライセンスを取得することができます。

## 製品を再登録する場合

LicenseServer バージョンを 3.0 以前から LicenseServer 3.0 以降にアップグレードする場合、ライセンスプール内に古い製品の登録が検知される可能性があります (バージョン 3.0 から搭載されている) 新規の登録フォームと互換性が無い場合があります。このような状況が発生した場合、古い製品の登録は削除される必要があり、製品は再度登録される必要があります。LicenseServer はこの状況をメッセージで通知し、必要なステップを取るようプロンプトします。

## 2.2 プロセッサコアとライセンス

Altova サーバー製品へのライセンス供与は(ロジカルなコアの数量ではなく)製品マシン上で使用することのできる物理的なプロセッサのコアの数量をベースとしています。例えば、デュアルコアプロセッサには、クアッドコアプロセッサ4コア、ヘキサコア6コアなどの2つのコアが存在します。製品にライセンス供与されるコア数は、物理または仮想マシンに関わらず、サーバーマシン上で使用することのできるコアの数量と同数、またはそれ以上である必要があります。例えば、サーバーが8コア持つ場合、8コアライセンスを購入する必要があります。コアの数量を満たすためにライセンスを組み合わせることもできます。ですから、2つのコアライセンスを使用して、8コアライセンスの代わりに8コアを達成することもできます。

処理する容量は少ないが、CPU コアの大きなコンピューターサーバーを使用している場合、少ない数量のコア割り当てられている仮想マシンを作成し、その数量のライセンスを購入することもできます。このようなデプロイの場合、もちろん、コンピューターのすべてのコアを使用する場合に比べるようなデプロイの処理スピードは遅いです。

**メモ** 各 Altova サーバー製品ライセンスは、使用されていないライセンス供与能力が存在する場合でも、Altova サーバー製品がインストールされているマシンで、一度に一つのクライアントマシンのためにのみ使用することができます。例えば、10 コアライセンスが6 CPU コアを持つマシンのために使用されている場合、残りのライセンス許与能力の4 コアは、他のクライアントマシンのために同時に使用することはできません。

### *Mobile Together Server Advanced Edition のためのメモ*

サービスの機能のため、Mobile Together Server Advanced Edition は2つまたは以上のコアを持つマシン上のみで作動します。

### *FlowForce Server と MapForce Server のためのメモ*

FlowForce Server Advanced Edition と MapForce Server Advanced Edition は2つまたは以上のコアを持つマシン上でのみ作動します。

ライセンスを供与するコアの数を評価する際は、ビジネス環境で必要とする処理時間、または、処理するデータの容量により異なります。多くのシナリオの場合、多くの数量のコア数により多くのデータを短時間で処理が可能であることを意味します。アプリケーション固有のヒントの一部は、以下のとおりです:

- FlowForce Server はマルチスレッドのアプリケーションとして作動します。同時にサーバーにリクエストされる数量が多い場合、不十分なコア数は、待機時間(待ち時間)を必要とする可能性があります。例えば、Web サービスとしてジョブが公開されている場合、クライアントからの同時リクエストが数百件存在する場合があります。この場合、FlowForce Server で多くのコア数を使用するメリットがあります。
- MapForce Server は単一スレッドのアプリケーションとして作動し、単一コアを各マッピングのために利用します。このため、同時に複数のマッピングを作動する場合、多数のコアの使用が奨励されます。例えば、MapForce Server が FlowForce Server の管理下で作動する場合、複数のマッピングジョブがオーバーラップ、セトアップにより、同時に実行される場合があります。しかしながら、マッピングにより処理される容量が決まる場合、待機時間が発生する場合があります。

### 単一スレッド実行

Altova サーバー製品が単一スレッドの実行を許可すると、単一スレッドの実行を使用できるようになります。この場合、Altova サーバー製品ライセンスはライセンスプール内でコアのみ使用することができます。複数のコアを持つマシンはこのコアライセンスに割り当てることができます。このような場合、その製品を作動するマシンは単一コアで作動します。(マルチコアでは使用可能な)複数スレッドを使用できないため処理はこのために遅くなります。製品はそのマシン上で単一スレッドモードで実行されます。

マルチコアマシンに単一コアライセンスを割り当てるには、その製品のために LicenseServer 内で「単一スレッド実行に制限する」チェックボックスを選択してください。

### 必要なコア数の見積もり

サーバーが扱うことのできるデータの量と処理回数を影響する多くの外部要素が存在します。(例えば、ハードウェア、CPU 上の現在のロード、サーバー上で作動する他のアプリケーションのメモリの割り当てなどが挙げられます)。パフォーマンスを正確に測定するため、データの量、条件、およびビジネスの環境に近い状態でアプリケーションをテストしてください。



## 2.3 ネットワーク情報

Altova LicenseServer は、ライセンスを必要とする Altova 製品が作動するすべてのクライアントからアクセスできるサーバーマシンにインストールされている必要があります。クライアントとサーバーのファイアウォールは、LicenseServer が正しく作動するために必要な LicenseServer からへのネットワークラフィックのフローを許可しなければなりません。

LicenseServer マシンではポート 35355 がライセンス配布用に使用されます。ですので、クライアントマシンとネットワークラフィックのために開かれている必要があります。フェールオーバー LicenseServers もプライマリ LicenseServer に接続されています。クライアントがポート 35355 での TCP または UDP を使用して行うように接続されています。

以下が LicenseServer のデフォルトのネットワークパラメータおよび必要条件です:

- *LicenseServer* ライセンス配布用:  
以下的一方または両方  
ポート 35355  
IPv6 TCP 上の IPv4 TCP または UDP 接続、または、ポート 35355 上の UDP 接続。

管理タスクに関しては、LicenseServer はポート 8088 を使用する Web インターフェイスからアクセスできます。使用するポートに関しては [条件に合った構成](#)<sup>90</sup> を参照してください。

### Altova.com との通信

Altova LicenseServer は、ライセンスに関連したデータを検証と認証し、Altova ライセンス使用許諾契約書への継続的な遵守を確認するため、altova.com マスター Licensing Server と通信する必要があります。この通信は HTTPS を介して、ポート 443 を使用して行われます。altova.com とサブドメインとの通信が許可されていることを確認してください。altova.com への接続は [タブの接続](#)<sup>90</sup> [タブの接続テスト](#)<sup>93</sup> ペイン内でテストすることができます。

altova.com マスターサーバーへの接続の喪失は [Altova LicenseServer の構成ページの](#)<sup>78</sup> [メッセージタブ](#)<sup>99</sup> 内でログされます。更に、Altova LicenseServer を構成して、altova.com への接続が失われると自動的に電子メールで通知することができます。 [構成ページの](#)<sup>78</sup> [設定タブ](#)<sup>96</sup> 内で通知メールの設定を使用することができます。

### 製品が登録されている LicenseServer に関する情報

各製品の登録のために、製品が登録されている LicenseServer に関する情報が LICSVR ファイル内に保存されています。このファイルは次の場所に保管されています:

#### インストール済みライセンスと同時実行ユーザーライセンス

- %ProgramData%\Altova\<ProductName><Version>\<ProductName>.licsvr
- 例: C:\ProgramData\Altova\XMLSpy2019\xmlspy.licsvr

#### 名前が付けられているユーザーのライセンス

- %UserProfile%\Documents\Altova\<ProductName><Version>\<ProductName>.licsvr
- 例: C:\Users\nicky\Documents\Altova\XMLSpy2019\xmlspy.licsvr

### LicenseServer がクライアントを識別する方法

マシン上の Altova 製品が LicenseServer に登録されると、マシンの ID (ホスト名と IP アドレス) およびマシンに登録されているユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) が登録されます。

### インストール済みライセンスと同時実行ユーザーライセンス

インストール済みのライセンス または、同時実行ユーザーライセンスが LicenseServer を使用して割り当てられる場合、ライセンスは LicenseServer により特定のクライアントマシンに対して発行されているものとして記録されます。LicenseServer はクライアントの IP アドレスの DNS サーバルックアップにより LicenseServer が取得するホスト名によりクライアントマシンを識別します。ルックアップからホスト名が取得されない場合、クライアントの IP アドレスが識別子として使用されます。以降、Altova 製品がクライアントマシン上で起動されると、LicenseServer は受信されるクライアント IP アドレスがライセンスが発行されたクライアントのホスト名または IP アドレスと一致するかを確認します。一致する場合、ライセンスの詳細が検証されます。

**メモ** インストール済みのライセンスと同時実行ユーザーライセンスの場合、LicenseServer は、マシンのホスト名、または IP アドレスを使用してライセンスを割り当て、割り当て済みのライセンスのカウントを保ちます。識別はホスト名を用いて最初に行われます。これで作動しない場合、IP アドレスが使用されます。使用中のネットワーク環境内で、IP アドレスが動的に生成されている場合（または、何らかの理由で固定されていない場合）新規の IP アドレスが新規のログイン時と同じマシンのために作成されます。これにより、インストール済みのライセンス または、同時実行ユーザーライセンスがすぐに最高数に達する場合があります。（マシン ID ではなく）UPN ベースに割り当てが行われるため、このような環境では、[名前が付けられているユーザーライセンス](#)<sup>8</sup> を使用してください。Altova デスクトップ製品を仮想マシン、仮想デスクトップ、リモートデスクトップにインストールする場合、この点を留意してください。

**メモ** インストール済みのライセンス または、同時実行ユーザーライセンスは製品マシンログオン、製品を起動する最初のユーザーのためのみ作動します。これは、製品がそのマシンのみライセンス許与を行っており、そのマシン上で一人のユーザーのみが製品を一度に作動できるためです。複数のユーザーによる製品のインストールの使用を有効化するには、名前が付けられたユーザーライセンスを持つ製品のライセンス供与を複数の名前を持つユーザーに設定してください。

### 名前が付けられているユーザーのライセンス

名前が付けられているユーザーライセンスが LicenseServer を使用して作成されている場合、LicenseServer によりライセンスは特定の UPN に対して発行されているものとして記録されます。以降、Altova 製品がクライアントマシンで起動される都度、LicenseServer はユーザーがログイン済みの UPN をベースにクライアントユーザーを識別します。UPN がライセンス済みのクライアントユーザーの UPN に一致する場合、ライセンスの詳細が検証されます。

UPN がライセンス済みのクライアントユーザーの UPN に一致する場合、ライセンスの詳細が検証されます。

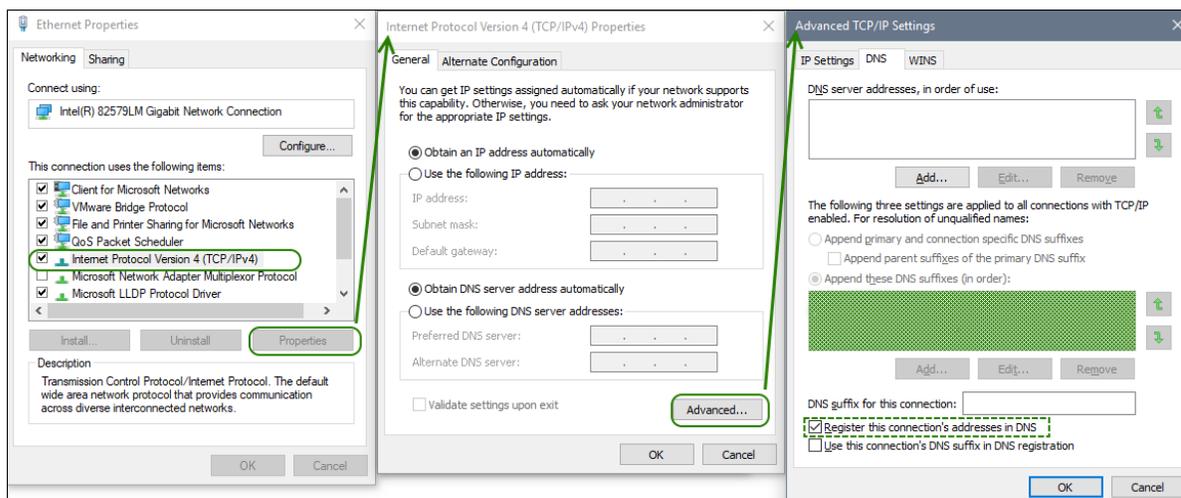
クライアントマシンが仮想プライベートネットワーク (VPN) サービスを介して LicenseServer に接続すると、接続は多くの場合、割り当てられた IP アドレスを使用して作成されます。この場合、クライアントによる新規の接続は、LicenseServer により受信される新規の IP アドレスとして記録され、このため、既知のクライアントとして認識されます（上記の「LicenseServer」がクライアントマシンを識別する方法を参照してください）。

この操作により以下の結果が発生します：

- クライアントの接続時、LicenseServer 上に追加ライセンスが存在する場合、新規のライセンスが既に割り当てられた複数のライセンスが既に割り当て済みのクライアントに割り当てられます。クライアントに以前割り当てられているライセンスは割り当てが解除されます。この結果、単一のクライアントが複数のライセンスを消費し、サーバー上のライセンスの不足を招く可能性が発生します。
- LicenseServer に追加ライセンスが存在しない場合、そのクライアントに対して以前ライセンスが割り当てられていたにもかかわらず、（クライアントにより使用されていない IP アドレスにより）そのクライアント上の製品にライセンスを供与することはできません。

解決するにはおつの方法があります：

- [名前が付けられているユーザーライセンス](#)を使用する。名前が付けられているユーザーライセンスの場合、ライセンスはクライアントマシンのホスト名またはアドレスに頼らず、ライセンス済みのユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) に頼ります（[Altova Licenses の種類](#)<sup>8</sup>を参照してください）。動的な IP アドレスを使用するネットワークセットアップ内で作業する場合このライセンスモデルの使用が奨励されます。
- VPN クライアントを DNS を使用して登録する。操作方法は OS により異なります。Windows 10 クライアント上では、例えば、クライアントネットワーク接続のプロバイドによりセットアップを行うことができます（下のスクリーンショット参照）。



- VPN ユーザーに静的な IP アドレスを割り当てる。操作方法は VPN ソフトウェアにより異なります。VPN プロバイダーまたは管理者から関連する情報を取得することができます。例えば、OpenVPN とこの操作を行う方法は [ここ](#) で説明されています。

## 2.4 中央サーバー上の Altova 製品

Altova デスクトップ製品が以下の状態の場合取るステップについて説明しています: (i) 中央サーバー上でホストされている(ii) リモートクライアントにライセンス供与している。Altova デスクトップ製品を仮想マシン、または、遠隔のデスクトップにインストールするし、正確な LicenseServer に製品を登録する場合、これらのガイドラインに従ってください。

1. デスクトップ製品をインストールする前に、LicenseServer をインストールしてください。
2. LicenseServer のライセンスプールに関連する製品のライセンスをアップロードします(または、ライセンスを次の登録でアップロードすることができます(次のポイント)。
3. デスクトップ製品のためのインストールプロセスの終わりに、LicenseServer に製品を登録するかどうか問われます。「はい」を選択し、使用することのできる LicenseServers のリストから、製品ライセンスを使用することのできる(または将来使用できるようになる) LicenseServer を選択します。
4. 登録に成功すると以下に存在する LICSVR ファイルを書き込み保護してください。%ProgramData%\Altova\<ProductName>\<Version>\<ProductName>.licsvr。これは LICSVR ファイル内に保管されている正確な LicenseServer の情報が誤って上書きされないようにするためです。
5. これ以降、リモートのクライアントがサーバーベースの製品ソフトウェアを開始すると、クライアントは正確な LicenseServer からライセンスを取得、または、ライセンスを割り当てられることができます。

**メモ** インストール済みの製品の登録を後で回すと、ネットワーククライアントがサーバーベースの製品を開始し、不適格な LicenseServer に製品を登録する可能性があります。このような状態を回避するために、インストール後すぐにデスクトップ製品をすぐに登録することが奨励されます。

**メモ** 製品の最初の登録が間違った LicenseServer に行われた場合、サーバーベースの製品ソフトウェアを開始する次のクライアントのためのライセンスは(間違った) LicenseServer で使用できるようになります。製品のためのライセンスがその LicenseServer で使用できる場合でも、このライセンス供与は意図とされません。この間、正確な LicenseServer 上のライセンスは意図とされ割り当てのために使用されません。

**メモ** インストール済みのライセンス、または、同時実行ユーザーライセンスは製品マシンログイン、製品を起動する最初のユーザーのためのみ作動します。これは、製品がそのマシンのみライセンス許与を行っており、そのマシン上で一人のユーザーのみが製品を一度に作動できるためです。複数のユーザーによる製品のインストールの使用を有効化するには、名前が付けられたユーザーライセンスを持つ製品のライセンス供与を複数の名前を持つユーザーに設定してください。

以下も参照してください! [Altova ライセンスの種類](#)<sup>8</sup> と [ネットワーク情報](#)<sup>12</sup>。

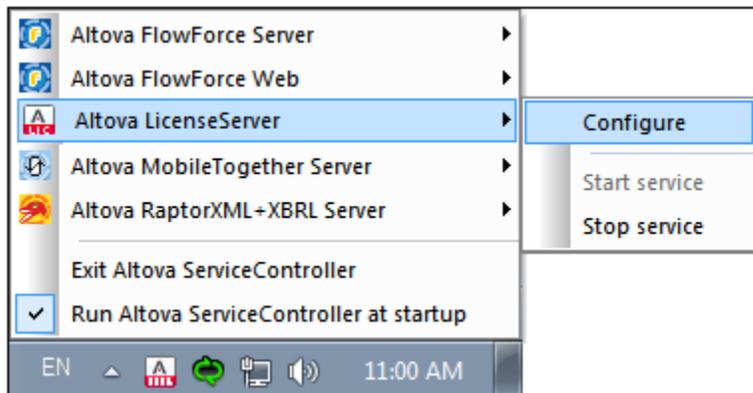
## 2.5 Altova ServiceController (Windows のみ)

Altova ServiceController (略してServiceController) はWindows システム上でAltova サービスを便利に開始、停止、構成できるアプリケーションです。

ServiceController はAltova LicenseServer と並びサービスとしてインストールされるAltova サーバー製品(FlowForce Server, RaptorXML(+XBRL) Server, and Mobile Together Server)。スタート | Altova LicenseServer | Altova ServiceController をクリックして開始されます。(このコマンドは「開始」メニューフォルダーでも使用することができます サービスとしてインストールされるAltova サーバー製品(FlowForce Server, RaptorXML(+XBRL) Server, and Mobile Together Server)。)ServiceController が開始した後、システムトレイからアクセスすることができます。(下部スクリーンショット)。



システムログイン時にServiceController の自動開始を指定するには、システムトレイのServiceController アイコンをクリックしてServiceController メニューを表示します(下部スクリーンショット)。スタートアップ時にAltova ServiceController を作動する(Run Altova ServiceController at Startup) コマンドに切り替えます。(このコマンドはデフォルトで切り替えられています。)ServiceController を終了するには、システムトレイのServiceController アイコンをクリックして、表示されるメニューからAltova ServiceController の終了(Exit Altova ServiceController) をクリックします(下部スクリーンショット参照)。



### サービスの開始と停止

(例えば、Altova RaptorXML Server サービス) インストールされたAltova サービスコンポーネントはServiceController メニューでエントリとして表示されます(上部スクリーンショット参照)。Altova サービスはServiceController のサブメニューのコマンドを介して開始または停止することができます。更に、ServiceController メニューを介して、個別サービスの管理タスクにアクセスすることができます。上部のスクリーンショットでは、例えば、Altova LicenseServer サービスにはサブメニューがあり、「構成」(Configure) コマンドを介してLicenseServer の構成ページにアクセスすることを選択できます。

## 2.6 フェールオーバー LicenseServer

2番目のLicenseServer はプライマリLicenseServer が使用できなくなるとプライマリLicenseServer を引き継ぐように構成することができます。この番目のLicenseServer はフェールオーバーLicenseServer と呼ばれます。フェールオーバーLicenseServer の作動メカニズムは以下の通りです:

- LicenseServer アプリケーションは通常フェールオーバーLicenseServer とする予定のマシンにインストールされています。
- このLicenseServer はネットワーク上で作動するプライマリLicenseServer のフェールオーバーLicenseServer として構成されます。構成はフェールオーバーLicenseServer の[設定](#)<sup>91</sup> タブで構成を行うことができます。

フェールオーバーLicenseServer が構成されると、プライマリLicenseServer とフェールオーバーLicenseServer はそれぞれのヘッダーバー内のフェールオーバーの存在に関する情報を表示します。プライマリは自身のフェールオーバーを認識し、フェールオーバーはプライマリの名前をあげます(下のスクリーンショットを参照してください)。



**メモ** LicenseServer がFailover LicenseServer として設定されると、[ライセンスプール](#)<sup>79</sup>、[クライアント管理](#)<sup>82</sup>、[クライアントのモニタリング](#)<sup>89</sup> タブは表示されません。プライマリLicenseServer からフェールオーバーLicenseServer に引き継がれると、タブは再度表示されます。

### フェールオーバー LicenseServer のしくみ

フェールオーバーLicenseServer は以下のように作動します:

- フェールオーバーLicenseServer が更新されると、全てのライセンス、登録済みのクライアント、およびライセンスの使用許諾書をプライマリから定期的に同期します。
- プライマリが使用できない場合、フェールオーバーがLicenseServer の役割を引き受けます。
- プライマリが再び使用できるようになると、フェールオーバーからコントロールを取り戻します。この期間中フェールオーバー上でライセンスに関連した変更は、プライマリがコントロールを取り戻すと失われます。
- フェールオーバーLicenseServer はバージョン2015 rel 3 または以降、およびAltova MobileTogether Server バージョン1.5 または以降のAltova 製品にのみライセンスを提供します(プライマリLicenseServer の[クライアントの監視タブ](#)<sup>89</sup>内の情報から古いクライアントを識別することができます)。フェールオーバーLicenseServer 機能を使用する場合、必要とされる最低バージョンにAltova アプリケーションをアップグレードすることが必要です。

### フェールオーバー LicenseServer によりバックアップされている LicenseServer をアップデートする方法

[フェールオーバーLicenseServer](#)<sup>90</sup> によりバックアップされたLicenseServer を新しいバージョンに更新する場合、次の順序で更新を行ってください!

1. プライマリのLicenseServer を更新してください。更新中にフェールオーバーLicenseServer に切り替えられます。
2. プライマリの更新が完了するまで待ちます。プライマリの更新が完了すると、プライマリフェールオーバーから切り替えられ、フェールオーバーのサービスは停止されます。
3. フェールオーバーLicenseServer を更新します。
4. フェールオーバーの更新が完了すると、フェールオーバーのサービスを使用することができません。

メモ フェールオーバーを最初に更新しようとすると、インストールは失敗し、インストールのロールバックが行われます。ロールバックに失敗すると、フェールオーバーはアンインストールされます。

## 2.7 ライセンスのチェックアウト

クライアントはデスクトップ製品ライセンスをライセンスが製品マシン上に保管されるように、ライセンスをライセンスプールから 30 日間チェックアウトすることができます (設定<sup>90</sup> タブのライセンスチェックアウト 設定内で正確な日数は指定されています)。これにより、オフラインで作業することが可能になります。これはとても役に立ちます。Altova LicenseServer にアクセスできない環境 (例えば、旅行中に Altova 製品がインストールされたラップトップコンピュータで作業する場合など) が挙げられます。製品のユーザーインターフェイスのライセンス認証ダイアログのクライアント側で実際のライセンスのチェックアウトは実行されます。クライアントがライセンスをチェックアウトする機能は (設定<sup>93</sup> タブ内の) サーバー側でチェックアウトが有効化されているかにより異なります。

ライセンスのチェックアウトは **デスクトップ製品**<sup>8</sup> のみで使用することができます。チェックアウトされているライセンスは **インストール済みのユーザーライセンス**<sup>8</sup> または **同時実行ユーザーライセンス**<sup>8</sup> である場合、ライセンスはマシンライセンス供与されており、ライセンスをチェックアウトするユーザーが使用することができます。チェックアウトされているライセンスが **名前付けられているユーザーライセンス**<sup>8</sup> の場合、名前付けられているユーザーの Windows アカウントにライセンスはチェックアウトされます。仮想マシンのためライセンスのチェックアウトは作動しませんが、(VDI 内の) 仮想デスクトップのためには作動しません。

ライセンスはチェックアウトされていますが、LicenseServer は、ライセンスが使用中と表示し、ライセンスは他のマシンで使用することができません。ライセンスはチェックアウトの期間が終わると自動的にチェックインされた状態に戻します。または、チェックアウトされたライセンスはソフトウェアのライセンスの認証ダイアログのボタンを使用して「チェックイン」することができます。

製品マシンへライセンスプールからライセンスをチェックアウトするには、Altova デスクトップ製品のヘルプメニューに移動し、ソフトウェアライセンス認証を選択します。詳細に関しては Altova 製品のユーザーマニュアルを参照してください。

メモ ライセンスのチェックアウトはサーバー製品に対しては使用できません。

## 2.8 LicenseServer の更新

Altova 製品の新しいリリースでは、LicenseServer の新しいバージョン(対応するバージョン) がリリースされます。Altova 製品をアップデートすると、対応する LicenseServer バージョンに LicenseServer もアップデートされる必要があります。対応するバージョンより古い LicenseServer バージョンは Altova 製品にライセンスを割り当てることができません。しかしながら、LicenseServer バージョン下位互換性があります(これは、LicenseServer が Altova 製品のバージョンより古い場合でもライセンスを割り当てることができることを意味します)。

LicenseServer を以下のように更新します:

- Windows システム: 新しいバージョンのインストーラー(実行可能ファイル) をダブルクリック、または、インストーラーをコマンドラインから呼び出します。インストーラーは、古いバージョン LicenseServer の古いバージョンをアンインストール、新しいバージョンをインストールします。
- Linux および macOS: 古いバージョンを手動でアンインストール、新しいバージョンのインストーラーファイルを開始します。

最初にインストールされている LicenseServer ( [Windows](#)<sup>90</sup>、[Linux](#)<sup>37</sup>、[macOS](#)<sup>44</sup> を参照) とインストールの手順は同じです。

\* LicenseServer 3.6 を使用して以下にライセンスを供与することができます (i) バージョン 2021r2 または以前の Altova ソフトウェア製品 (ii) Altova Mobile Together Server バージョン 7.2 または以前。メモ内でリストされるものよりも新しい Altova 製品バージョンにライセンスを供与するには使用することができません。

### 注意点

- Altova 製品の新しいバージョンをインストールする場合、および現在の LicenseServer バージョンが最新ではない場合、LicenseServer の古いバージョンをアンインストール、最新のバージョンをインストールします。または、LicenseServer インストールを続行する前に、古いバージョンを検知し、自動的にアンインストールする LicenseServer インストーラーに任せすることもできます。
- LicenseServer の古いバージョン内に保管されている登録とライセンス情報は保存され、アンインストール時に LicenseServer マシンのデータベース上に保管され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。これは両方の場合に行われます: (i) 手動のアンインストール、または (ii) LicenseServer インストーラーによる自動的なアンインストール
- サーバー製品の特定のバージョンのために適切な LicenseServer のバージョン番号がそのサーバー製品のインストール中に表示されます。LicenseServer のこのバージョンをサーバー製品のインストールの一部としてインストールすることを選択できます。
- [Failover LicenseServer](#)<sup>17</sup> により LicenseServer がバックアップされている場合、下の更新シーケンスを参照してください。
- 現在インストールされている LicenseServer のバージョンは [LicenseServer 構成ページ](#)<sup>78</sup> の下の部分に表示されています。

### フェールオーバー LicenseServer に関連した LicenseServer を更新する方法

[フェールオーバー LicenseServer](#)<sup>90</sup> によりバックアップされた LicenseServer を新しいバージョンに更新する場合、次の順序で更新を行ってください!

1. プライマリ LicenseServer を更新してください。更新中にフェールオーバー LicenseServer に切り替えられます。
2. プライマリの更新が完了するまで待ちます。プライマリの更新が完了すると、プライマリフェールオーバーから切り替えられ、フェールオーバーのサービスは停止されます。
3. フェールオーバー LicenseServer を更新します。
4. フェールオーバーの更新が完了すると、フェールオーバーのサービスを使用することはできません。

**メモ** フェールオーバーを最初に更新しようとすると、インストールは失敗し、インストールのロールバックが行われます。ロールバックに失敗すると、フェールオーバーはアンインストールされます。

## 2.9 新規の LicenseServer ヘライセンスを移動する方法

新規のLicenseServer にライセンスを移動するには、以下を行います:

1. 古いLicenseServer にアップロードされたオリジナルのライセンスファイルが存在することを確認してください。
2. [フェールオーバーLicenseServer](#)<sup>17</sup> が存在する場合 (プライマリの[設定タブ内の](#)<sup>91</sup> フェールオーバーLicenseServer 切断 をクリックして) 切断します。それ以外の場合、プライマリがアンインストールされるとフェールオーバーがライセンス操作を行います。
3. 古い(プライマリ) のLicenseServer 上の[全てのライセンスを無効化します](#)<sup>68</sup>。
4. 古い(プライマリ) のLicenseServer から[全てのライセンスを削除します](#)<sup>79</sup>。
5. 古い(プライマリ) LicenseServer1 をアンインストールします。
6. 新規の(プライマリ) LicenseServer インストールします。
7. 必要であれば [古いフェールオーバー](#)<sup>17</sup> を新規のプライマリのフェールオーバーになるように構成します。
8. 新規(プライマリ) のLicenseServer に[Altova 製品を登録します](#)<sup>49</sup>。
9. 新規(プライマリ) のLicenseServer に[アップロードされたライセンスをアップロードします](#)<sup>66</sup>。
10. 新規(プライマリ) のLicenseServer に[アップロードされたライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

## 2.10 パスワードのリセット

LicenseServer パスワードを忘れた場合、コマンドラインインターフェイスから `passwordreset` コマンドを使用してパスワードをデフォルトにリセットすることができます。

1. コマンドラインウィンドウを開く
2. LicenseServer アプリケーションまたは実行可能ファイルがインストールされているディレクトリに変更する
3. 次のコマンドを入力する `licenseserver passwordreset`  
これにより LicenseServer 管理者のパスワードを元のパスワードである `default` に設定します
4. LicenseServer サービスを再起動します ([Windows](#)<sup>32</sup>、[Linux](#)<sup>40</sup>、[macOS](#)<sup>46</sup> を参照してください)。
5. 管理者にパスワード `default` を使用して、ログインすることができます。

## 2.11 SSL 暗号化

バージョン 3.3 以降 LicenseServer は [Web インターフェイス \(構成ページ\)](#)<sup>78</sup> との間で安全な接続をセトアップできるようになりました。e接続は HTTPS と SSL 証明書を使用してセキュリティ保護されています。

SSL 暗号化のセトアップの大きなステップは以下の通りで、このセクションのサブセクションで説明されています:

1. SSL 証明書と秘密キーを取得します。[CA から証明書を取得する](#)<sup>23</sup> 内で証明機関 (CA) から証明書を購入するステップについて説明されています。
2. [LicenseServer の Web UI の設定タブ](#)<sup>94</sup> 内で SSL 証明書と秘密キーを登録し [暗号化された接続を有効化します](#)<sup>26</sup>。

### 2.11.1 CA から証明書を取得する

このセクションは証明機関 (CA) から証明書を取得するステップについて説明されています。[LicenseServer のための SSL 暗号化](#)<sup>26</sup> を有効化するには以下のファイルが必要になります:

- **秘密キーファイル** 以下を使用して生成することができます: (i) (macOS 上の Keychain Access Linux 上の OpenSSL などの) オペレーティングシステム上に既存のアプリケーション、または (ii) ([OpenSSL](#) などの) サードパーティアプリケーション。
- **証明書ファイル** [VeriSign](#) または [Thawte](#) などの識別証明機関 (CA) されているから購入する秘密キーをベースとした公開キーで以下を使用します: (i) 生成した秘密キーファイル (ii) SSL アプリケーションにより生成することも可能な証明書署名リクエスト (CSR)。
- **証明書チェーンファイル (または 中間証明書ファイル)**: 公開キー証明書ファイルと共に CA により提供されます。

これらの3つのファイルを取得するステップは以下にリストされています。

[OpenSSL](#) は Linux 配布と macOS マンで通常インストール済みで [Windows コンピューターにインストール](#) することもできます。下のステップは OpenSSL コマンドを使用して説明されています。Open SSL インストーラー [インストーラーのダウンロード](#) リンクに関しては [OpenSSL Wiki](#) を参照してください。

#### 秘密キーを生成するステップと証明機関から証明書を取得する方法

##### 1. 秘密キーの生成

SSL は秘密キーがサーバーにインストールされている必要があります。秘密キーを作成するには、次の OpenSSL コマンドに従ってください:

```
openssl genrsa -out private.key 2048
```

これは秘密キーを含む `private.key` と呼ばれるファイルを作成します。秘密キーは PEM (Privacy Enhanced Mail) 書式である必要があります。ファイル拡張子は通常 `.pem`、ですが、`.key`、`.cert`、`.cer`、または `.crt` であることもできます。秘密キーはパスワードで保護されている必要はありません。ファイルの保存場所を記録してください。(詳細に関しては [ピックアップ 秘密キーの必要条件](#)<sup>25</sup> を参照してください)。次のステップ内で証明書署名リクエスト (CSR) を生成するために秘密キーが必要になります。

##### 2. 証明書署名リクエスト (CSR) の生成

証明書署名リクエスト (CSR) は証明機関 (CA) に公開キーの証明書をリクエストするために送信されます。CSR は秘密キーをベースとしており、所属機関の情報を含んでいます。次の OpenSSL コマンドを使用して (ステップ) でパラメータの一つと

して作成された秘密キー `private.key` を適用する CSR を作成します:

```
openssl req -new -nodes -key private.key -out my.csr
```

CSR の生成中、所属機関に関する以下のリストのような情報を提供する必要があります。この情報は証明機関により使用され所属機関の識別を検証されるために使用されます。

- 国名
- ローカルの住所 (ビジネスが存在する場所)
- 機関 (企業名)。特殊文字は使用しないでください。これらは証明書を無効化します。
- 共通名 (サーバーの DNS 名)。これはサーバーが作動するホストマシン上の完全に修飾されたドメイン名 (FQDN) に完全に一致する必要があります。
- チャレンジスワード。このエントリは空のままおいてください!

### 3. SSL 証明書の購入方法

[VeriSign](#) または [Thawte](#) などの証明機関 (CA) から SSL 証明書を購入します。残りの命令に関しては、VeriSign の [プロセス](#) に従ってください。他の CA を使用したプロセスも同様です。

- [VeriSign Web サイト](#) に移動してください。
- 「SSL 証明書の購入」をクリックしてください。
- SSL 証明書の異なる種類を使用することができます。LicenseServer のためにセキュリティで保護されたサイト、または、セキュリティで保護されたサイト上での証明書で十分です。ユーザーが確認することのできる緑色のアドレスバーが存在しないため EV (拡張された検証) は必要ありません。
- 登録プロセスを続行し、注文に必要な情報を入力します。
- (ステップ 2 で作成された CSR のため) プロンプトされると、`my.csr` ファイルのエントリをコピーして注文フォームに貼り付けます。
- クレジットカードを使用して証明書の支払いを行います。

#### 証明書の取得には時間を要します

SSL 証明機関 (CA) から公開キー証明書を取得するには通常 2-3 営業日を要します。Altova LicenseServer をセットアップする際この点を考慮してください。

### 4. 証明機関から公開キーと中間ファイルを受信する方法

証明機関はエンロールプロセスを 2-3 営業日に完了します。この期間中に電子メールまたは電話で DNS ドメインのために SSL 証明書をリクエストすることを認証したかチェックされる場合があります。機関と処理を完了するために作業してください。

認証とエンロールプロセスが完了すると、SSL 証明書の公開キーが含まれた電子メールを受信します。公開キーはプレーンなテキスト書式、または、`.cer` ファイルとして添付されて送信されます。

中間証明書ファイル (プライマリとセカンダリ) をテキストまたはファイルを受信します。一部の場合、証明機関 (CA) は Web サイト上で中間証明書のエントリをリストしています。

- Verisign の中間証明書: [https://knowledge.verisign.com/support/ssl-certificates-support/index?page=content&id=AR657&actp=LIST&viewlocale=en\\_US](https://knowledge.verisign.com/support/ssl-certificates-support/index?page=content&id=AR657&actp=LIST&viewlocale=en_US)
- Verisign のセキュリティで保護された中間証明書: <https://knowledge.verisign.com/support/ssl-certificates-support/index?page=content&id=AR1735>

両方の中間証明書 (プライマリとセカンダリ) 異なるテキストファイルにコピー貼り付け、使用中のコンピュータに保存します。

## 5. 公開キーをファイルに保存する方法

LicenseServer を使用する際は、公開キーは PEM (Privacy Enhanced Mail) フォーマットで保存されている必要があります。ファイル拡張子は通常 `.pem` ですが、`.key`、`.cert`、`.cer`、または `.crt` であることもできます。公開キーはテキストとして提供され、以下からすべてをコピー

```
--BEGIN CERTIFICATE--
...
--END CERTIFICATE--
```

`certificate.cer` を呼び出すテキストファイルに張り付けます。

## 6. CA の中間証明書を単一のファイルに保存する

LicenseServer のために SSL 暗号化を有効化するにはプライマリとセカンダリ中間証明書を単一ファイルに結合する必要があります。中間ファイルは CA から送信されます(ステップ 4 を参照してください)。

両方の中間証明書をコピーし張り付けシーケンスのままこのファイルに保存します。シーケンスの順序は重要です: (i) セカンダリ中間証明書 (ii) プライマリ中間証明書。証明書間にラインが存在しないことを確認してください。

```
--BEGIN CERTIFICATE--
secondary intermediate certificate
--END CERTIFICATE--
--BEGIN CERTIFICATE--
primary intermediate certificate
--END CERTIFICATE--
```

名前が付けられた `intermediates.cer` と名前の付けられたファイルに結合された結果する証明書を保存します(ファイル拡張子は以下を使用することができます: `.pem`、`.key`、`.cert`、`.cer`、または `.crt`)。このファイルに証明書を署名するために CA により使用された中間証明書のフォーム内の信頼の完全なチェーンを含んでいます。

## 結果ファイル

上記のステップを実行した後以下のファイルを使用することができます:

- **秘密キーファイル** 上のステップ内の名前が付けられた `private.key` (ステップ 1 を参照してください)
- **証明書ファイル** 上のステップ内の名前が付けられた `certificate.cer` (ステップ 2 から 5 を参照してください)
- **証明書チェーンファイル** (または **中間証明書ファイル**): 上のステップ内の名前が付けられた `intermediates.cer` (ステップ 4 から 6 を参照してください)

これらのファイルを適切な場所に保存します。[設定タブの Web UI](#) <sup>94</sup> 内で SSL 暗号化を有効化するにはファイル名を入力する必要があります。

## 2.11.2 秘密キーの必要条件

LicenseServer は無人で作動するため enabling SSL の有効化は証明書の秘密キーが暗号化なしであることを必要とします。すなわち、パスワードで保護されてはいけません。それ以外の場合、LicenseServer により使用されることできません。この理由のために、秘密キーを保管するファイルは制限されたアクセスを持ち、期間内で権限を持つ者のみがアクセス可能である必要があります。

秘密キーがパスワードにて保護されている、または暗号化済みであるかなどを確認するには、テキストエディタまたはコマンドラインで秘密キーファイルを開いて確認します。暗号化された秘密キーは以下のラインで開始します:

```
-----BEGIN RSA PRIVATE KEY-----
Proc-Type: 4, ENCRYPTED
DEK-Info: AES-256-CBC,DFC3FAD546517ED6336CFF72AA23F6C7
```

秘密キーの暗号化を解除する方法の一つは OpenSSL ツールキットの使用です(<https://www.openssl.org/>)。具体的には、以下のコマンドを実行して秘密キーの暗号化を解除することができます。

```
openssl rsa -in enc.key -out dec.key
```

**enc.key** が暗号化されているキーで **dec.key** がコマンドにより出力される暗号化されていないキーである箇所。例えば **alsenc.key** は暗号化されているキーで、秘密キーが保管されているディレクトリ内の以下のコマンドを実行して暗号化されていないキーを取得することができます:

```
openssl rsa -in alsenc.key -out alsdec.key
```

コマンドの実行後 **alsdec.key** ファイルは ENCRYPTED とは表記しなくなります。例:

```
-----BEGIN RSA PRIVATE KEY-----
MIIEpQIBAAKCAQEAzCCedru/oKzaSiwh6avtf9eMPix99RKpd07fWtwstkuglAdi
--
--
-----END RSA PRIVATE KEY-----
```

### 2.11.3 LicenseServer のために SSL を有効化する

秘密キーと証明書ファイルの取得後、LicenseServer と Web UI の間に暗号化された接続を以下のように有効化することができます:

1. セクション [LicenseServer 構成ファイルを開く \(Windows\)](#)<sup>33</sup>、[LicenseServer 構成ファイルを開く \(Linux\)](#)<sup>41</sup> と [LicenseServer 構成ファイルを開く \(macOS\)](#)<sup>47</sup> 内で説明されている通り構成ページを開きます。
2. [設定タブ](#)<sup>90</sup> に移動し [Web UI ページ](#)<sup>94</sup> に移動します (下のスクリーンショット)。

**Web UI**

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses  
 Only the following hostname or IP address:   
 Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system  
 Fixed port   
 Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

3. 暗号化された接続をキャンセルします。
4. Web インターフェイスが SSL 暗号化された接続をリッスンする箇所のインターフェイスを選択します。他を選択すると、入力したホストアドレスは SSL 証明書の共通名エントリに対応する必要があります。
5. SSL 暗号化された接続のためのポート番号を入力します。
6. 証明書ファイルと秘密キーファイルに対応するパスを入力します。
7. 中間証明書ファイルは最終証明書（公開キー）を作成するために使用されます。そして証明書チェーンファイルフィールド内に [中間証明書ファイル](#)<sup>23</sup> のパスを入力します。証明書が [証明機関により作成される](#)<sup>23</sup> 場合に中間ファイルが通常使用されます。
8. 暗号化されていない接続を追加で設定するかどうかを決めることができます。暗号化されていない接続の選択を解除すると、LicenseServer はプレーンな HTTP を介して使用することできません。このために SSL 暗号化された接続が作動します。HTTP 接続を完全に無効化する代わりに、上のスクリーンショットで表示されるとおりの接続をローカル接続に制限することが奨励されます。
9. 「保存」をクリックして完了してください。サーバーは再起動され、ブラウザーは http ではなく https URL にダイレクトされます。

### 注意点

SSL 設定が正確に構成されていない場合、または、証明書の問題が存在する場合、[Web UI](#)<sup>78</sup> にもうアクセスできない可能性があります。この場合（有効化されている場合）暗号化されていない接続の URL を使用、または server.cfg ファイル内の SSL の設定を手動で変更します（下を参照してください）。

代わりに、サーバー構成ファイル (server.cfg) の名前を変更し、Altova LicenseServer をサービスとして起動します。サービスを再起動するにつれて、デフォルトの接続設定を持つ新規のサーバー構成ファイルが作成され、[Web UI](#)<sup>78</sup>（にアクセスできるようになります。[サーバー設定し保存する](#)<sup>90</sup> サービスは自動的に再起動します。）

### server.cfg ファイルを手動で編集する方法

server.cfg ファイルは次の場所に保管されています:

**Windows** C:\ProgramData\Altova\LicenseServer\data\

**Linux** /var/opt/Altova/LicenseServer/data

macOS /var/Altova/LicenseServer/data

ファイルの関連するラインは緑色のドキュメントコメントと共に下にリストされています。下のリスティング内の設定は上のスクリーンショット内の設定に対応しています。

server.cfg  
=====

```
[Listen] //Settings for Unencrypted connections
active = 1 // Set active = 1 to enable Unencrypted connections
hostkind = local
hostcustom = 0.0.0.0
host = localhost
port = 8088
```

```
[ListenSSL] //Settings for Encrypted connections
active = 1 // Set active = 0 to disable Encrypted connections
hostkind = all
hostcustom = 0.0.0.0
host = 0.0.0.0
port = 8090
ssl = 1
```

```
[SSL]
certificate = C:\certificates\certificate.cer
private_key = C:\certificates\private.key
certificate_chain = C:\certificates\intermediates.cer
```

### 3 LicenseServer のインストールと開始(Windows)

このセクションでは、Windows システム上のLicenseServer のための次のプロセスについて説明されています:

- [インストール\(Windows\)](#)<sup>30</sup>
- [LicenseServer をサービスとして開始する\(Windows\)](#)<sup>32</sup>
- [LicenseServer の構成ページを開く\(Windows\)](#)<sup>33</sup>

このセクション内で説明されるとおインストールとセットアップが完了すると、以下を行うことができます: (i) [LicenseServer に製品インストールを登録する](#)<sup>49</sup>、(ii) [LicenseServer に製品ライセンスをアップロードする](#)<sup>66</sup>、および(iii) [登録済みの製品インストールに製品ライセンスを登録する](#)<sup>71</sup>。

## 3.1 LicenseServer のインストール (Windows)

Altova LicenseServer はWindows システムに2通りの方法でインストールすることができます。

- 個別のインストールとしてAltova ウェブサイトの[ダウンロードページ](#)に移動して、インストールパッケージをダウンロードしてインストールを実行します。
- Altova サーバー製品の一部として\* インストールする方法製品のインストール内にLicenseServer を含む場合インストーラーは自動的にLicenseServer の前のバージョンをアンインストールして新しいバージョンをインストールします。

\* Altova サーバー製品: Altova DiffDog Server, Altova FlowForce Server, Altova MapForce Server, Altova Mobile Together Server, Altova RaptorXML(+XBRL), およびAltova StyleVision Server.

### システム必要条件

#### ▼ Windows

プラットフォーム更新済みのWindows 7 SP1、Windows 8、Windows 10

#### ▼ Windows Server

プラットフォーム更新済みのWindows Server 2008 R2 SP1 以降

### Windows サーバコア上でのインストール

Windows Server Core は多数のGUI 機能を使用しない最低限のWindows インストールです。Windows Server Core マシン上にLicenseServer を以下のようにインストールすることができます。

1. LicenseServer インストール実行可能ファイルをAltova ウェブサイトからダウンロードします。このファイルは `licenseserver-3.6.exe` と名前が付けられています。使用中のサーバープラットフォーム(32ビットまたは64ビット)にマッチする実行可能ファイルが選択されていることを確認して下さい。
2. (Windows Server Core マシンではなく) 標準のWindows マシンではコマンド `licenseserver-3.6.exe /u` を実行します。これは `.msi` ファイルをインストーラー実行ファイルと同じフォルダー内で解凍します。
3. 解凍されていない `.msi` ファイルをWindows Server Core マシンで解凍します。
4. LicenseServer の前のバージョンを更新する場合 LicenseServer を次のステップを実行する前にシャットダウンします。
5. `.msi` ファイルをコマンド `msiexec /i LicenseServer.msi` を実行するインストールのために使用します。これによりWindows Server Core でのインストールが開始されます。

`.msi` ファイルを同じ場所に保管してください。後にアンインストール、修復、または変更する場合これらが必要になります。

インストールの戻り値をテストするには、以下に類似するスクリプトを実行します。リターンコードは `%errorlevel%` 環境変数内にあります。リターンコード 0 は成功を示しています。

```
start /wait msiexec /i LicenseServer.msi /q
echo %errorlevel%
```

リターンコードとインストールプロセスのログを持つサイレントインストールのために以下を実行します:

```
start /wait msiexec /i LicenseServer.msi /q /L*v! <pathToInstallLogFile>
```

インストールを変更するには以下を実行します:

```
msiexec /m LicenseServer.msi
```

インストールを修復するには以下を実行します:

```
msiexec /r LicenseServer.msi
```

Application をアンインストールするには以下を実行します:

```
msiexec /x LicenseServer.msi
```

Application を確認せずアンインストールしてログファイルに結果の詳細をレポートします:

```
start /wait msiexec /x LicenseServer.msi /q /L*v! <pathToUninstallLogFile>
```

## インストールに必要な管理者の権限

LicenseServer をインストールするには LicenseServer がインストールされているマシンのために管理者権限を取得する必要があります。

## LicenseServer と Altova 製品間のバージョンの互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

この結果、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、また現在の LicenseServer のバージョンが最新ではない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、[Altova Web サイト](#)で利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。

最初に古いバージョンをアンインストールせず LicenseServer の新しいバージョンをインストールする場合、新規のバージョンがインストールされる前に、LicenseServer により古いバージョンが自動的にアンインストールされます。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#)<sup>78</sup> (全てのタブ)の下部に表示されます。

以下も参照してください: [LicenseServer の更新](#)<sup>20</sup>

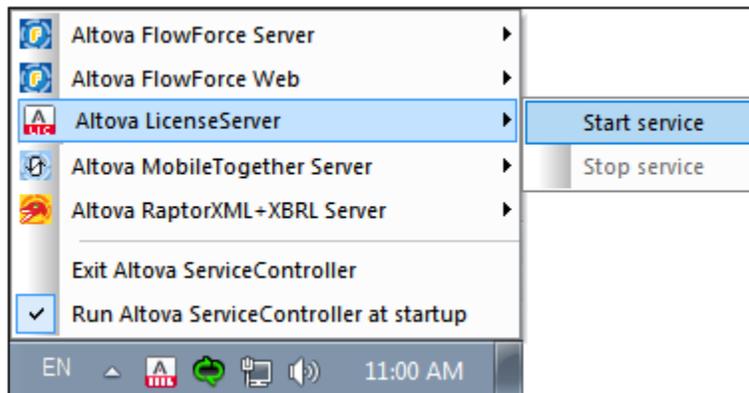
## サーバーマシンの再起動は必要ありません

LicenseServer がインストールされると、インストールされているマシンを再起動する必要はありません。LicenseServer がサーバーマシン上のサービスとして開始されていることを確認してください(次のセクションを参照)。

## 3.2 LicenseServer をサービスとして開始する (Windows)

システムトレイ内の Altova ServiceController を使用して LicenseServer をサービスとして開始します。以下を行ってください！

1. 「Start | All Programs | Altova LicenseServer | Altova ServiceController」をクリックして、Altova ServiceController を開始し、システムトレイ内にアイコンが表示されます（下のスクリーンショットを参照）。「Run Altova ServiceController」を「Startup」メニューコマンドで選択すると、Altova ServiceController はシステムの開始上で開始され、アイコンはシステムトレイ内で以降表示されるようになります。



2. LicenseServer をサービスとして開始するには、システムトレイ内で Altova ServiceController アイコンをクリックします。表示される「Altova LicenseServer」メニューをクリックし、LicenseServer サブメニューから「Start Service」を選択します（上のスクリーンショット参照）。LicenseServer が既に作動している場合、「Start Service」オプションが無効化されます。

### 3.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Windows)

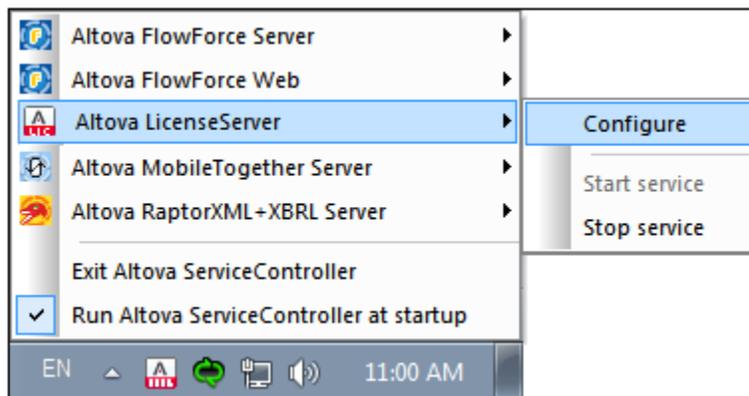
#### このセクション:

- [LicenseServer が同じコンピュータにある場合の構成ページの開きかた](#)<sup>33</sup>
- [LicenseServer が他のコンピュータにある場合の構成ページの開きかた](#)<sup>33</sup>
- [初回/パスワードでのログイン](#)<sup>34</sup>
- [構成ページの固定ポートの設定](#)<sup>34</sup>

#### LicenseServer が同じコンピュータにある場合の構成ページの開きかた

Windows システムで、LicenseServer が既にコンピュータにある場合、LicenseServer の[構成ページ](#)<sup>78</sup> を 2 通りの方法で開くことができます:

- 「スタート | すべてのプログラム | Altova LicenseServer | LicenseServer 構成ページ (Configuration Page)」をクリックします。構成ページはインターネットブラウザの新しいタブとして開かれます。
- システムトレイの Altova ServiceController アイコンをクリックします。ポップアップしたメニューの **Altova LicenseServer** (下のスクリーンショット参照) をポイントして「構成」(Configure) を LicenseServer サブメニューから選択します。



[構成ページ](#)<sup>78</sup> は新しいブラウザウィンドウで開かれ、ログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

#### LicenseServer が他のコンピュータにある場合の設定ページの開きかた

LicenseServer [構成ページ](#)<sup>78</sup> をローカルネットワークの LicenseServer がインストールされている他の Windows マシンから開く場合、ブラウザのアドレスバーに LicenseServer [構成ページ](#)<sup>78</sup> URL を入力して、「Enter」を押します。

デフォルトでは、構成ページの URL は以下のとおりになります:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された WebUI.html という名前の URL は以下で見つけることができます:

Windows            C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html

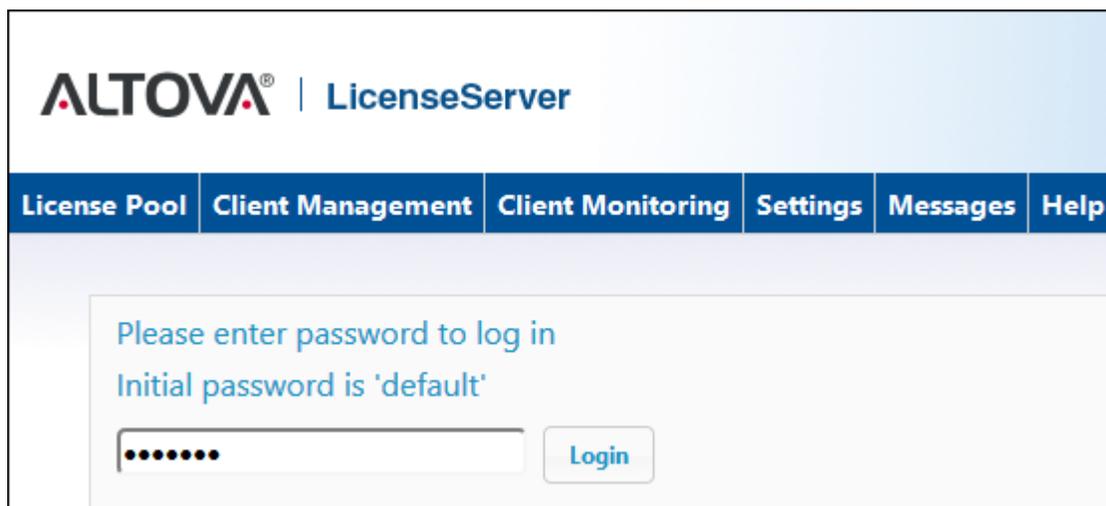
Linux                /var/opt/Altova/LicenseServer/webUI.html

macOS                /var/Altova/LicenseServer/webUI.html

WebUI.html 内の(LicenseServer の) URL は<head> 要素の終わりに近い関数スクリプト内にある関数 checkIfServiceRunning() 内にあります。

### 初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#)<sup>78</sup> のログインスクリーンが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード default でログインすることができます。ログインした後、[設定\(Settings\)](#)<sup>90</sup> タブでパスワードを変更することができます。



### 構成ページのためにポートを設定する

構成ページ(Web Ui)のポートと結果的にアドレスは[設定ページのWeb UI ページ](#)<sup>94</sup>にて指定することができます。デフォルトのポートは8088です。LicenseServer [構成ページ](#)<sup>94</sup> (下のスクリーンショット参照)の他のポートを設定することもできます。

## Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

- All interfaces and assigned IP addresses
- Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

- Dynamically chosen by the operating system
- Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

## 4 LicenseServer のインストールと開始 (Linux)

このセクションでは、Windows システム上の LicenseServer のための次のプロセスについて説明されています:

- [インストール\(Linux\)](#)<sup>37</sup>
- [LicenseServer をサービスとして開始する\(Linux\)](#)<sup>40</sup>
- [LicenseServer の構成ページを開く\(Linux\)](#)<sup>41</sup>

このセクション内で説明されるとおインストールとセットアップが完了すると、以下を行うことができます: (i) [LicenseServer に製品インストールを登録する](#)<sup>49</sup>、(ii) [LicenseServer に製品ライセンスをアップロードする](#)<sup>66</sup>、および(iii) 登録済みの製品インストールに[製品ライセンスを登録する](#)<sup>71</sup>。

## 4.1 LicenseServer のインストール (Linux)

Altova LicenseServer はLinux システム(Debian、Ubuntu、CentOS、RedHat) にインストールすることができます。

### システムの必要条件

#### ▼ Linux

- CentOS 7 未満以降
- RedHat 7 未満以降
- Debian 8 未満以降
- Ubuntu 16.04 LTS 未満以降

次のライブラリはアプリケーションをインストール実行するため必要とされるライブラリです。下のパッケージが使用中 Linux のマシンで使用できない場合、yum (または、適用できる場合、apt-get を) コマンドを実行してインストールしてください。

サーバー	CentOS, RedHat	Debian	Ubuntu
LicenseServer	krb5-libs	libgssapi-krb5-2	libgssapi-krb5-2

### インストールに必要な管理者の権限

LicenseServer をインストールするにはLicenseServer がインストールされているマシンのために管理者権限を取得する必要があります。

### 古いバージョン LicenseServer のアンインストール

Linux コマンドラインインターフェイス(CLI) で以下のコマンドを使用してLicenseServer がインストールされているか確認することができます。

```
[Debian, Ubuntu]: dpkg --get-selections | grep altova
[CentOS, RedHat]: rpm -qa | grep server
```

LicenseServer がインストールされていない場合、以下のステップでインストールしてください。LicenseServer がインストールされていて、新しいバージョンをインストールした場合、以下のコマンドを使用して古いバージョンをアンインストールしてください。

```
[Debian, Ubuntu]: sudo dpkg --remove licenseserver
[CentOS, RedHat]: sudo rpm -e licenseserver
```

### Altova LicenseServer のインストール

Linux システムでは、LicenseServer は他のAltova サーバー製品と別途にインストールされる必要があり、Altova サーバー製品のインストールパッケージには含まれていません。 [Altova Web サイト](#) からAltova LicenseServer をダウンロードして、直接 Linux システムのディレクトリにパッケージをコピーします。

ディストリビューション	インストーラー 拡張子
Debian	.deb

Ubuntu	.deb
CentOS	.rpm
RedHat	.rpm

ターミナルウィンドウで、Linux パッケージをコピーしたディレクトリに切り替えます。例えば (/home/User ディレクトリに存在する)、MyAltova という名のユーザーディレクトリにコピーした場合、以下のよう切り替えます:

```
cd /home/User/MyAltova
```

以下のコマンドを使用して LicenseServer をインストールします:

```
[Debian]: sudo dpkg --install licenseserver-3.6-debian.deb
[Ubuntu]: sudo dpkg --install licenseserver-3.6-ubuntu.deb
[CentOS]: sudo rpm -ivh licenseserver-3.6-1.x86_64.rpm
[RedHat]: sudo rpm -ivh licenseserver-3.6-1.x86_64.rpm
```

- LicenseServer パッケージは以下にインストールされます: /opt/Altova/LicenseServer/bin
- LicenseServer を作動するために必要な権利を有する `altovalicenseserver` という名前のユーザーが作成されます。When LicenseServer がデーモンとして (または、サービスとして) 作動している場合、このユーザーとして開始されます。 (また、(i) このユーザーが LicenseServer にアクセスすることができる特権を持つ新規のユーザーが作成されます。また、(ii) (最大限の特権を有する) LicenseServer をルートユーザーとして開始します。上記のステップは以下の理由のため必須ではなく、奨励されません。(i) 不利な点が存在します。(ii) `altovalicenseserver` ユーザーには、LicenseServer を作動するために必要とされる全ての権利を有しており、これは個別の専用のユーザーのためです)。

#### LicenseServer を作動する際のバックグラウンド情報

以下の点について注意してください!

- LicenseServer をデーモン (または、サービス) として作動することが奨励されます。
- LicenseServer をデーモンとして作動する場合、LicenseServer を `initctl` または `systemctl` コマンドを使用して管理することが最善策です。これらのコマンドは、ルートユーザーの特権を持つ場合のみ実行することができます。このため、非ルートユーザーとして作動している場合、ルートユーザー特権 (`sudo initctl...` と `sudo systemctl...`) を一時的に取得するために `sudo` コマンドを使用してください。
- LicenseServer がデーモンとして開始されると、(i) インストール時に LicenseServer インストーラーにより作成され、(ii) LicenseServer を作動するためのすべての権利を有する `altovalicenseserver` をユーザーとして自動的に作動します。詳細に関しては [LicenseServer の開始](#)<sup>40</sup> を参照してください。

ライセンスの割り当ての方法に関する情報は、[ライセンスの割り当て方法](#)<sup>71</sup> のセクションを参照してください。

### LicenseServer と Altova 製品間のバージョンの互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

この結果、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、また現在の LicenseServer のバージョンが最新ではない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、[Altova Web サイト](#) で利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータベースに保存さ

れ、新しいバージョンに自動的にインポートされます。

最初に古いバージョンをアンインストールせず LicenseServer の新しいバージョンをインストールする場合、新規のバージョンがインストールされる前に LicenseServer により古いバージョンが自動的にアンインストールされます。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは [LicenseServer 構成ページ](#)<sup>78</sup> (全てのタブ)の下部に表示されます。

以下も参照してください: [LicenseServer の更新](#)<sup>20</sup>

### サーバーマシンの再起動は必要ありません

LicenseServer がインストールされると、インストールされているマシンを再起動する必要はありません。LicenseServer がサーバーマシン上のサービスとして開始されていることを確認してください(次のセクションを参照)。

## 4.2 LicenseServer をサービスとして開始する (Linux)

LicenseServer を Linux システムでサービスとして開始する場合、ターミナルウィンドウで以下のコマンドを実行します:

```
sudo systemctl start licenseserver
```

( LicenseServer を停止する場合、上記コマンドで `start` を `stop` に置換えてください。)

## 4.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Linux)

### このセクション:

- [返されたURLで構成ページを初めて開く](#) <sup>41</sup>
- [LicenseServer 構成ページのURL](#) <sup>41</sup>
- [初回パスワードでのログイン](#) <sup>41</sup>
- [ページ構成ページの固定ポートの設定](#) <sup>42</sup>

### 返されたURLで構成ページを初めて開く

Linux システムでは、CLI を介して LicenseServer に Altova サーマー製品を登録した場合、LicenseServer の構成ページの URL が返されます。ブラウザでこの URL を開く際、ライセンス使用許諾契約書を読んで合意するようプロンプトされます。ライセンス使用許諾契約書に合意した後、構成ページのログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

**メモ** Altova デスクトップ製品は、Windows のみで使用することができます。Altova サーマー製品は Windows、Linux、macOS のために使用することができます。

### LicenseServer 構成ページのURL

LicenseServer [構成ページ](#) <sup>78</sup> 開くには、アドレスバーに URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL は以下の通りです:

デフォルトでは、構成ページの URL は以下のとおりになります:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された WebUI.html という名前の URL は以下で見つけることができます:

Windows            C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html

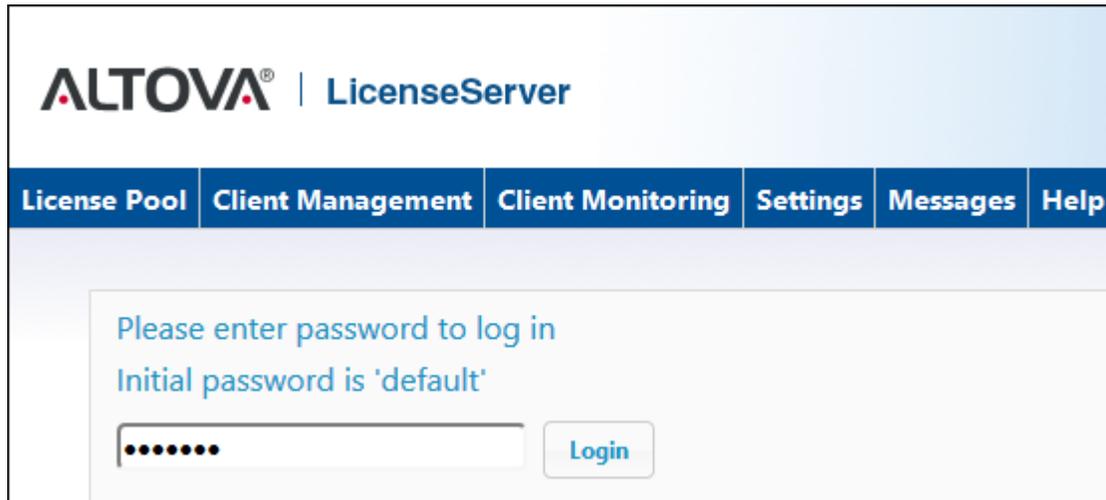
Linux                /var/opt/Altova/LicenseServer/webUI.html

macOS                /var/Altova/LicenseServer/webUI.html

WebUI.html 内の (LicenseServer の) URL は <head> 要素の終わりに近い関数スクリプト内にある関数 `checkIfServiceRunning()` 内にあります。

### 初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#) <sup>78</sup> のログインスクリーンが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード `default` でログインすることができます。ログインした後、[設定\(Settings\)](#) <sup>90</sup> タブのパスワードを変更することができます。



ALTOVA® | LicenseServer

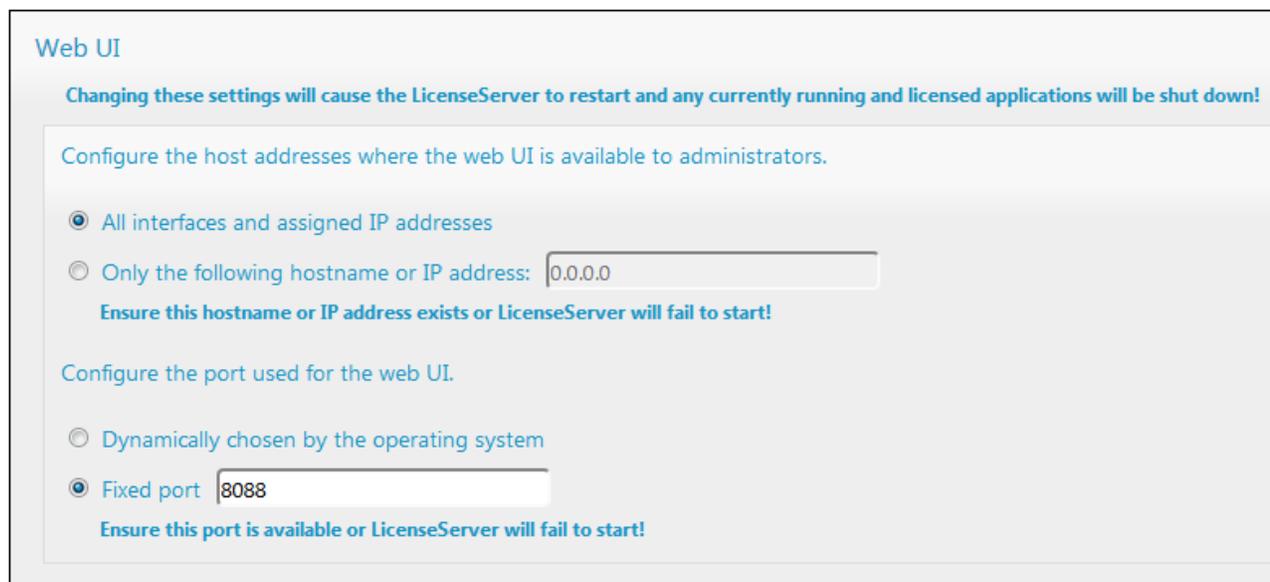
License Pool Client Management Client Monitoring Settings Messages Help

Please enter password to log in  
Initial password is 'default'

..... Login

### 構成ページのためポートを設定する

構成ページ (Web UI) のポートと結果的にアドレスは [設定ページの Web UI ページ](#)<sup>94</sup> に指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#)<sup>94</sup> (下のスクリーンショット参照) の他のポートを設定することもできます。



Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address: 0.0.0.0

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port 8088

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

## 5 LicenseServer のインストールと開始 (macOS)

このセクションでは、macOS システム上のLicenseServer のための次のプロセスについて説明されています:

- [インストール\(macOS\)](#) <sup>44</sup>
- [LicenseServer をサービスとして開始する\(macOS\)](#) <sup>46</sup>
- [LicenseServer の構成ページを開く\(macOS\)](#) <sup>47</sup>

このセクション内で説明されるとおインストールとセットアップが完了すると、以下を行うことができます: (i) [LicenseServer に製品インストールを登録する](#) <sup>49</sup>、(ii) [LicenseServer に製品ライセンスをアップロードする](#) <sup>66</sup>、および(iii) [登録済みの製品インストールに製品ライセンスを登録する](#) <sup>71</sup>。

## 5.1 LicenseServer のインストール (macOS)

Altova LicenseServer は macOS システムにインストールすることができます (下記のシステムの必要条件を参照してください)。前のバージョンがアンインストールする必要がある場合は、アンインストールを先に行ってください。

### システムの必要条件

#### ▼ macOS

macOS 10.13 また以降

### インストールに必要な管理者の権限

LicenseServer をインストールするには LicenseServer がインストールされているマシンのために管理者権限を取得する必要があります。

### 古いバージョン LicenseServer をアンインストールする方法

LicenseServer をアンインストールする前に、以下のコマンドでサービスを停止します。

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

サービスが停止されたか確認するには、アクティビティ モニター ターミナルを開き、LicenseServer がリストにないことを確認します。

アプリケーションで、LicenseServer アイコンを右クリックし、「ごみ箱へ移動」を選択します。アプリケーションはごみ箱に移動されます。しかし、usr フォルダからアプリケーションを削除しなければなりません。このためには以下のコマンドを使用します。

```
sudo rm -rf /usr/local/Altova/LicenseServer
```

### Altova LicenseServer のインストール

Altova ダウンロードページ <http://www.altova.com/ja/download.html> を開き、Mac 向けのサーバーソフトウェア製品の中から Altova LicenseServer を検索します。イメージ (.dmg) ファイルをダウンロード後、クリックして開きます。これにより、新しい仮想ドライブがコンピュータにマウントされます。仮想ドライブで、パッケージ (.pkg) ファイルをダブルクリックして、画面上の指示に従います。手続きを続行するには、使用許可承諾書に同意する必要があります。

以下の点に留意してください。

- LicenseServer パッケージは以下にインストールされます: /usr/local/Altova/LicenseServer
- LicenseServer を作動するために必要な権限を有する `altovalicenserver` というユーザー名が作成されます。LicenseServer はデーモン (またはサービス) として起動され、このユーザーとして自動的に開始されます。

#### *LicenseServer を作動する際のバックグラウンド情報*

以下の点に注意してください。

- LicenseServer をデーモン (またはサービス) として作動することが奨励されます。

- LicenseServer をデーモンとして作動する場合、LicenseServer を `launchctl` コマンドを使用して管理することが最善策です。このコマンドは、ルートユーザーの特権を持つ場合のみ実行することができます。このため、非ルートユーザーとして作動している場合、ルートユーザー特権 (`sudo launchctl...`) を一時的に取得するために `sudo` コマンドを使用してください。
- LicenseServer がデーモンとして開始されると、(i) インストール時に LicenseServer インストーラにより作成され、(ii) LicenseServer を作動するためのすべての権利を有する `altovalicenserver` をユーザーとして自動的に作動します。詳細に関しては [LicenseServer の開始](#)<sup>46</sup> を参照してください。

インストール後に仮想ドライブから退出する場合は、右クリックし、「Eject」を選択します。

### LicenseServer と Altova 製品間のバージョンの互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受け取ることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

この結果、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、また現在の LicenseServer のバージョンが最新ではない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、[Altova Web サイト](#) で利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。

最初に古いバージョンをアンインストールせず LicenseServer の新しいバージョンをインストールする場合、新規のバージョンがインストールされる前に、LicenseServer により古いバージョンが自動的にアンインストールされます。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#)<sup>78</sup> (全てのタブ)の下部に表示されます。

以下も参照してください: [LicenseServer の更新](#)<sup>20</sup>

### サーバーマンの再起動は必要ありません

LicenseServer がインストールされると、インストールされているマンを再起動する必要はありません。LicenseServer がサーバーマン上のサービスとして開始されていることを確認してください(次のセクションを参照)。

## 5.2 LicenseServer をサービスとして開始する (macOS)

macOS システム上でLicenseServer をサービスとして開始する場合、次のコマンドをターミナルウィンドウ内で実行してください！

```
sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

LicenseServer を停止する必要がある場合、以下を使用してください！

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

## 5.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (macOS)

### このセクション:

- [返されたURLで構成ページを初回開く](#) <sup>47</sup>
- [LicenseServer 構成ページのURL](#) <sup>47</sup>
- [初回パスワードでのログイン](#) <sup>47</sup>
- [構成ページの固定ポートの設定](#) <sup>48</sup>

### 返されたURLで構成ページを初回開く

macOS システムでは、CLI を介して LicenseServer に Altova サーマー製品を登録した場合、LicenseServer の構成ページの URL が返されます。ブラウザでこの URL を開く際、ライセンス使用許諾契約書を読んで合意するようプロンプトされます。ライセンス使用許諾契約書に合意した後、構成ページのログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

**メモ** Altova デスクトップ製品は、Windows のみで使用することができます。Altova サーマー製品は Windows、Linux、macOS のために使用することができます。

### LicenseServer 構成ページのURL

LicenseServer [構成ページ](#) <sup>78</sup> 開くには、アドレスバーに URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL は以下の通りです:

デフォルトでは、構成ページの URL は以下のとおりになります:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `WebUI.html` とら名前の URL は以下で見つけることができます:

*Windows*            `C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html`

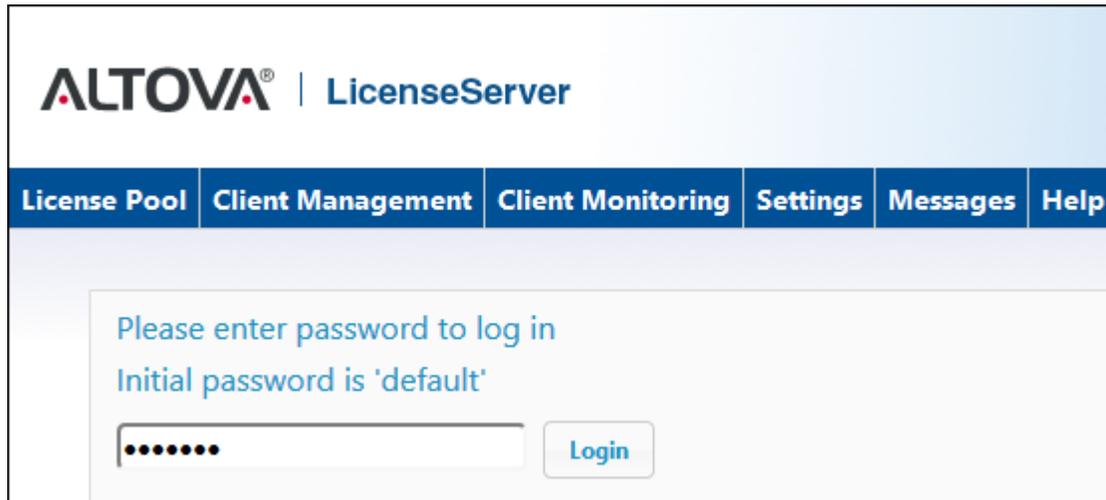
*Linux*              `/var/opt/Altova/LicenseServer/webUI.html`

*macOS*             `/var/Altova/LicenseServer/webUI.html`

`WebUI.html` 内の (LicenseServer の) URL は `<head>` 要素の終わりに近い関数スクリプト内にある関数 `checkIfServiceRunning()` 内にあります。

### 初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#) <sup>78</sup> のログインスクリーンが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード `default` でログインすることができます。ログインした後、[設定\(Settings\)](#) <sup>90</sup> タブのパスワードを変更することができます。



ALTOVA® | LicenseServer

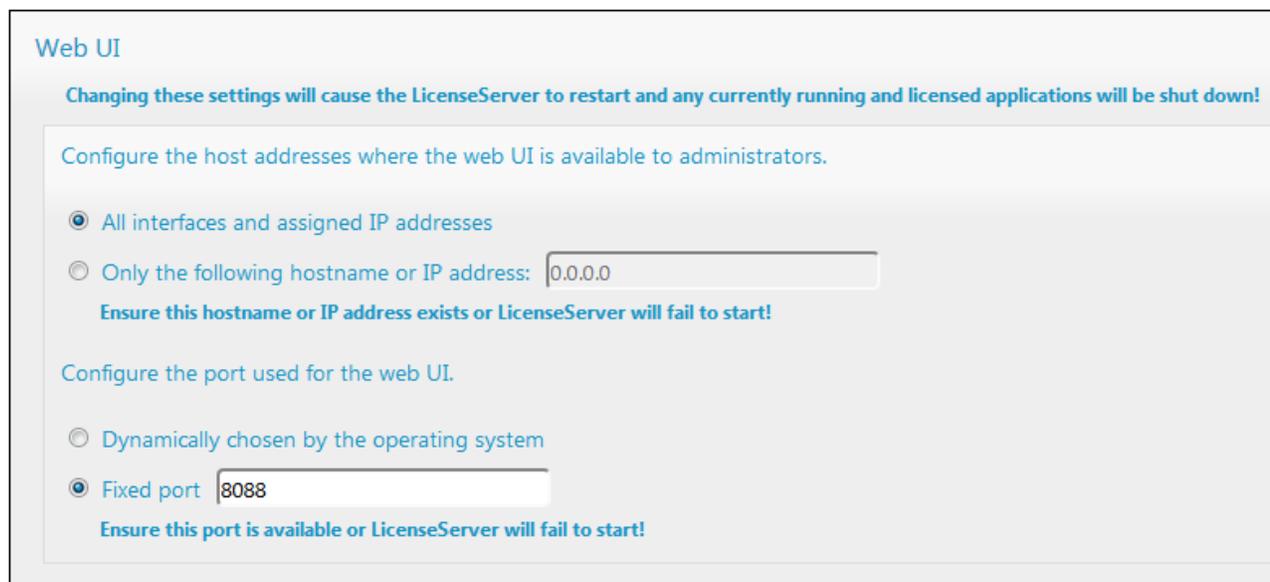
License Pool Client Management Client Monitoring Settings Messages Help

Please enter password to log in  
Initial password is 'default'

..... Login

### 構成ページのためポートを設定する

構成ページ(Web UI)のポートと結果的にアドレスは[設定ページのWeb UI ページ](#)<sup>94</sup>にて指定することができます。デフォルトのポートは8088です。LicenseServer [構成ページ](#)<sup>94</sup> (下のスクリーンショット参照)の他のポートを設定することもできます。



Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address: 0.0.0.0  
Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port 8088  
Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

## 6 製品の登録と登録の解除

Altova サーバー製品に[ライセンスの割り当て](#)<sup>72</sup>る前に、LicenseServer に製品を登録する必要があります。。Altova 製品から登録を行い、製品の種類ごとの手順は異なります。

- デスクトップ製品: ソフトウェアのライセンス認証ダイアログを使用して、登録が行われます。
- ソフトウェアのライセンス認証ダイアログを使用して、登録が行われます。Web UI を持つサーバー製品: FlowForce Server と MobileTogether Server の登録は、Web UI の **セットアップタブ** には製品の CLI により行うことができます。
- Web UI を持たないサーバー製品: DiffDog Server、MapForce Server、RaptorXML(+XBRL) Server、と StyleVision Server の登録は、これらの製品の CLI を使用して行います。LicenseServer がインストールされているマシンのサーバー名または IP アドレスが登録のために必要になります。

**メモ** LicenseServer に製品を登録すると、製品のみが登録されるだけでなく、製品が登録されているマシン、およびソフトウェアを登録したユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) も登録されます。関連した情報に関しては、[Altova ライセンスの種類](#)<sup>8</sup>を参照してください。

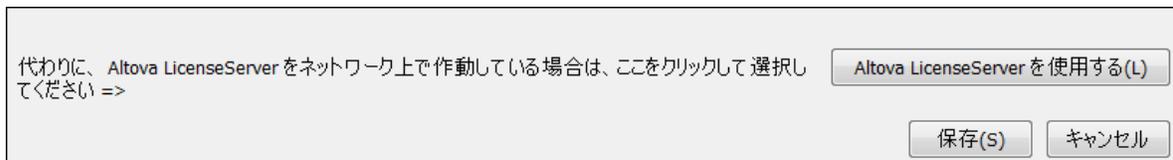
異なる Altova サーバー製品の登録方法を説明します:

- [Altova デスクトップ製品の登録](#)<sup>50</sup>
- [DiffDog Server の登録](#)<sup>51</sup>
- [FlowForce Server の登録](#)<sup>52</sup>
- [MapForce Server の登録](#)<sup>57</sup>
- [MobileTogether Server の登録](#)<sup>59</sup>
- [RaptorXML\(+XBRL\) Server の登録](#)<sup>61</sup>
- [StyleVision Server の登録](#)<sup>63</sup>

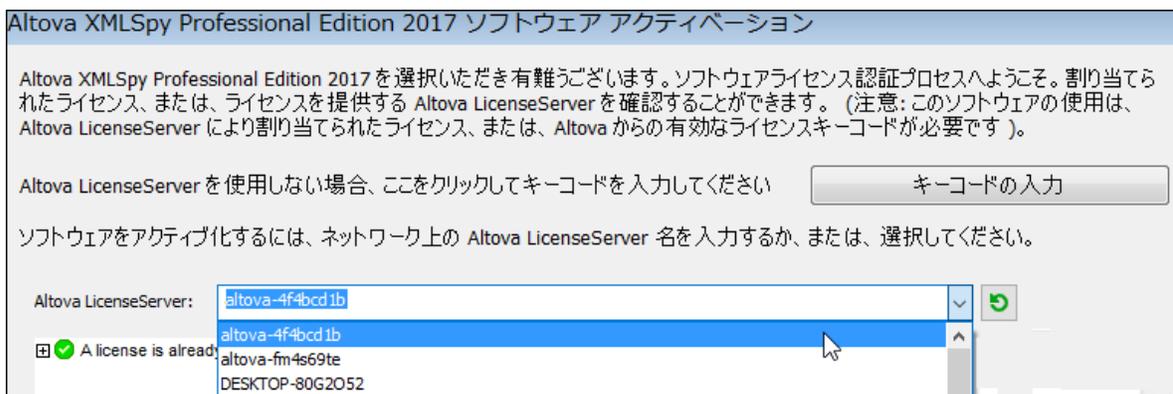
## 6.1 Altova デスクトップ製品の登録

Altova LicenseServer に Altova デスクトップ製品を登録するには、以下を行います:

1. メニューコマンド「ヘルプ | ソフトウェアのライセンスの認証」を選択して、製品のソフトウェアライセンス認証ダイアログに移動します。ライセンスの承認は、(i) Altova LicenseServer を使用して、または、(ii) キーコードの詳細をアップロードしておこなうことができます。このドキュメントでは、Altova LicenseServer を使用した場合のライセンスの認証について説明します。
2. LicenseServer を使用して製品のライセンスの認証をおこなうには、(ダイアログの下にある)「Altova LicenseServer を使用する」をクリックします(下のスクリーンショットを参照してください)。



3. これによりダイアログが LicenseServer のライセンス認証モードに切り替えられます(下のスクリーンショット参照)。Altova LicenseServer コンボボックスのドロップダウンリストから、LicenseServer を選択します。License Servers の自動検知は LAN 上で配信が送信されることを意味します。これらの配信がサブネットに制限されているため、License Server は自動検知のためのクライアント マシンと同じサブネット上に存在する必要があります。自動検知が作動しない場合、サーバーの名前を入力します。



選択された LicenseServer への接続が確立されると製品はすぐに選択された LicenseServer に登録され、LicenseServer の [クライアント管理タブ](#)<sup>82</sup> 内で使用中の製品リストに製品が表示されます。

### デスクトップ製品の登録解除

デスクトップ製品の登録を解除するには、LicenseServer の [クライアント管理タブ](#)<sup>82</sup> に移動し、製品のライセンス ペイン内の右側にある製品の「製品の登録解除」ボタンをクリックします。

## 6.2 DiffDog Server の登録

DiffDog Server サーバーは[ライセンスが割り当てられる](#)<sup>71</sup>前にAltova LicenseServer に登録される必要があります。登録の方法は以下の通りです。

### DiffDog Server の登録 (Windows)

DiffDog Server をコマンドラインインターフェイスCLI を介し `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。

```
DiffDogServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば LicenseServer が `http://localhost:8088` で作動する場合、DiffDog Server を以下で登録してください！

```
DiffDogServer licenseserver localhost
```

DiffDog Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動し、[DiffDog Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### DiffDog Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、DiffDog Server を DiffDog Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。DiffDog Server はレートの権限と共に開始されなければならぬことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/DiffDogServer2021/bin/diffdogserver licenseserver localhost
```

上記のコマンド内では、`localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーのIP アドレスを代わりに使用することもできます。DiffDog Server 実行可能ファイルの場所に注意してください！

```
/opt/Altova/DiffDogServer2021/bin
```

DiffDog Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動し、[DiffDog Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### DiffDog Server の登録 (macOS)

macOS マシンでは、DiffDog Server を DiffDog Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。DiffDog Server はレートの権限と共に開始されなければならぬことに注意してください。

```
sudo /usr/local/Altova/DiffDogServer2021/diffdogserver licenseserver localhost
```

上記のコマンド内では、`localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーのIP アドレスを代わりに使用することもできます。

DiffDog Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動し、[DiffDog Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

## 6.3 FlowForce Server の登録

### このセクション:

- [LicenseServer にFlowForce Server を登録する方法](#) <sup>52</sup>
- [FlowForce Server セットアップページへのアクセス \(Windows\)](#) <sup>52</sup>
- [FlowForce Server セットアップページへのアクセス \(Linux\)](#) <sup>52</sup>
- [セットアップページを介してのFlowForce Server の登録](#) <sup>53</sup>
- [FlowForce CLI を介してのFlowForce Server の登録 \(Windows\)](#) <sup>55</sup>
- [FlowForce CLI を介してのFlowForce Server の登録 \(Linux\)](#) <sup>56</sup>

### LicenseServer にFlowForce Server を登録する方法

FlowForce Server のLicenseServer への登録は以下の方法が使用できます:

- [FlowForce Server セットアップページを介して](#) <sup>53</sup>
- [FlowForce CLI を介して\(Windows\)](#) <sup>55</sup>
- [FlowForce CLI を介して\(Linux\)](#) <sup>56</sup>

### FlowForce Server セットアップページへのアクセス (Windows)

FlowForce Server セットアップページへは以下の方法でアクセスできます:

- スタートメニューから  
スタート | *Altova FlowForce Server 2021* | *FlowForce Server セットアップページ*
- [Altova ServiceController](#) <sup>16</sup> から システムトレイのServiceController アイコンをクリックします。ポップアップしたメニューから *Altova FlowForce Web | Setup* を選択します。

FlowForce Server セットアップページ 下のスクリーンショット) がポップアップします。

### FlowForce Server セットアップページへのアクセス (Linux)

Linux にFlowForce Server をインストールした後、(手順に関してはFlowForce Server ユーザードキュメンテーションを参照してください)。以下のコマンドを使用してFlowForce Web Server をサービスとして開始します:

```
sudo /etc/init.d/flowforcewebserver start
```

FlowForce Server のURL を含むメッセージがターミナルウィンドウに表示されます:

```
FlowForceWeb running on http://127.0.1.1:3459/setup?key=52239315203
```

アドレスフィールドにURL を入力して、FlowForce Server セットアップページにアクセスするために「Enter」を押します。(下のスクリーンショット)。

## セットアップページを介してのFlowForce Server の登録

セットアップページ(下のスクリーンショット)へのアクセス方法は上記されています。LicenseServer フィールドはAltova LicenseServer を登録するために指定されています。

ALTOVA®  
FlowForce®  
SERVER 2014

Home Help

### Setup

#### LicenseServer

Enter address here or search for LicenseServer

Register with LicenseServer

#### FlowForce Web Server

Bind address: All interfaces (0.0.0.0) 127.0.0.1 Port: 8082

Default time zone: Europe/Berlin

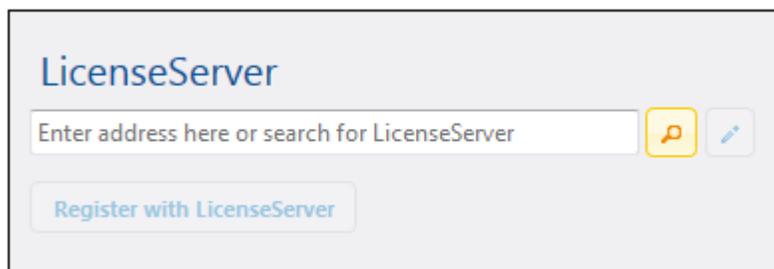
#### FlowForce Server

Bind address: All interfaces (0.0.0.0) 127.0.0.1 Port: 4646

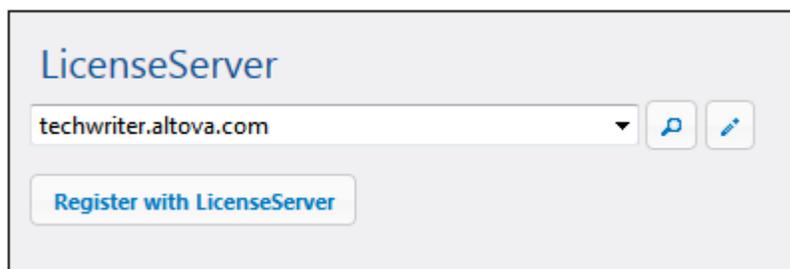
Apply settings and restart FlowForce services

LicenseServer 以下の2つの方法で指定できます。

- 現在ネットワークで使用可能な、つまり現在作動している、Altova LicenseServers を検索することができます。この手順は、「Altova LicenseServers 検索」(Search for Altova LicenseServers) ボタンをクリックすることで実行できます(下のスクリーンショットで黄色にハイライトされています)。



検索によりネットワーク上で使用可能な Altova LicenseServers のリストが返されます。1 つの LicenseServer が選択され（下のスクリーンショット）他はコンボボックスのドロップダウンリストで使用可能です。FlowForce ライセンスが保管されている LicenseServer を選択します。



- または、LicenseServer のアドレスを LicenseServer のフィールドに入力します。現在作動するがドロップダウンリストで使用可能な場合、「手動でアドレスを入力」(Manually Enter Address) ボタンをクリックして、LicenseServer フィールドにアドレスを入力することができます。

LicenseServer を指定した後、「LicenseServer により登録」(Register with LicenseServer)をクリックします。指定された LicenseServer により、サーバーアプリケーションが登録され LicenseServer の [構成ページ](#)<sup>78</sup> の [クライアント管理タブ](#)<sup>82</sup> がブラウザで開かれます（下のスクリーンショット）。

**メモ** LicenseServer 構成ページを表示するためポップアップを許可しなければなりません。

The screenshot displays the Altova LicenseServer web interface. At the top, the navigation menu includes 'License Pool', 'Server Management', 'Server Monitoring', 'Settings', 'Messages(0)', 'Log Out', and 'Help'. The current server is identified as 'DOC.altova.com'. Three server entries are listed:

- Altova FlowForce Server 2014**: This server has 2 CPU core(s). Licenses for 2 CPU core(s) are required. Max licensed CPU cores: 0.
- Altova StyleVision Server 2014**: This server has 2 CPU core(s). Licenses for 2 CPU core(s) are required. Max licensed CPU cores: 0.
- Altova MapForce Server 2014**: This server has 2 CPU core(s). Licenses for 2 CPU core(s) are required. Max licensed CPU cores: 0.

Each entry includes a checkbox for 'Limit to single thread execution'. At the bottom of the interface, there are two buttons: 'Request evaluation licenses' and 'Unregister server and all products'.

上部のスクリーンショットでは、3つの製品がDOC.altova.comのAltova LicenseServerに登録されています。ライセンスの割り当て方法に関しては、次のセクション [登録された製品へのライセンスの割り当て](#)<sup>72</sup>で説明されています。

### FlowForce CLI を介してのFlowForce Server の登録 (Windows)

Windows マシンでは、FlowForce Server は licenseserver コマンドを使用し、コマンドライン(CLI)を介してネットワーク上の Altova LicenseServer に登録することができます。

```
FlowForceServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が http://localhost:8088 で作動している場合、FlowForce Server を以下で登録します。

```
FlowForceServer licenseserver localhost
```

FlowForce Server が他のサーバー製品のサブパッケージとしてインストールされている場合、FlowForce Server の登録は自動的に Altova サーバー製品も登録します。FlowForce Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、FlowForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)<sup>72</sup>のセクションに説明されています。

### FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、FlowForce Server は FlowForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。FlowForce Server は root 権限とともに開始されなければならぬことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/FlowForceServer2021/bin/flowforceserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは `localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。FlowForce Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/MapForceServer2021/bin
```

FlowForce Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、FlowForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)<sup>72</sup>のセクションに説明されています。

## 6.4 MapForce Server の登録

### このセクション:

- [FlowForce Server からのMapForce Server の登録 \(Windows\)](#) <sup>57</sup>
- [スタブアロのMapForce Server の登録 \(Windows\)](#) <sup>57</sup>
- [MapForce Server の登録 \(Linux\)](#) <sup>57</sup>

MapForce Server はFlowForce Server の一部として、おスタブアロのサーバー製品としてインストールすることができます。どちらの場合でも、Altova LicenseServer に登録されなければなりません。LicenseServer に登録された後のみ、LicenseServer から ライセンスが割り当てられます。 <sup>72</sup> Windows システムでは、MapForce Server がFlowForce Server の一部としてインストールされる場合、FlowForce が登録される際自動的に登録されます。Linux システムでは、MapForce Server がFlowForce Server の後にインストールされる場合、FlowForce Server が登録される際に自動的に登録されます。MapForce Server がFlowForce Server の前にインストールされると、両方の製品を個別に登録する必要があります。

### FlowForce Server からのMapForce Server の登録 (Windows)

MapForce Server はFlowForce Server に パッケージされており、FlowForce Server がネットワークのAltova LicenseServer に登録されている場合、MapForce Server は自動的にLicenseServer に登録されます。FlowForce Server の登録方法は、このドキュメンテーションのLicenseServer にFlowForce Server を登録する <sup>52</sup> セクションに説明されています。

登録の後、LicenseServer に移動してMapForce Server ライセンスをMapForce Server に割り当てます。手順は 登録された製品にライセンスを割り当てる <sup>72</sup> セクションに説明されています。

### スタブアロのMapForce Server の登録 (Windows)

MapForce Server をスタブアロパッケージとしてインストールした場合、ネットワークのAltova LicenseServer に登録し、Altova LicenseServer からライセンスを与える必要があります。MapForce Server をコマンドラインインターフェイス(CLI) 介して licenseserver コマンドを使用して登録することができます:

```
MapForceServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で動作している場合、`http://localhost:8088`、MapForce Server を以下で登録します:

```
MapForceServer licenseserver localhost
```

MapForce Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、MapForce Server に ライセンスを割り当てます。手順は セクション登録された製品にライセンスを割り当てる <sup>72</sup> に説明されています。

### MapForce Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、MapForce Server をLicenseServer にMapForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。MapForce Server は root 権限とともに開始されなければならぬ ことにご注意してください。

```
sudo /opt/Altova/MapForceServer2021/bin/mapforceserver licenseserver localhost
```

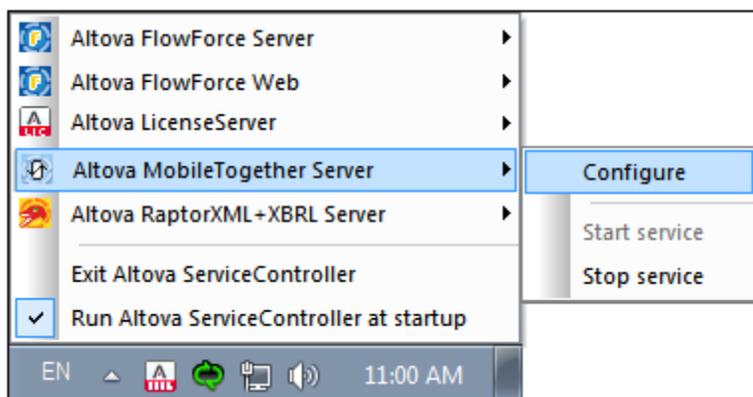
上記コマンドでは `localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーのIP アドレスを代わりに使用することもできます。MapForce Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/MapForceServer2021/bin
```

MapForce Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、MapForce Server にライセンスを割り当てます。手順は [登録された製品へのライセンスの割り当て](#)<sup>72</sup> のセクションに説明されています。

## 6.5 MobileTogether Server の登録

MobileTogether Server を開始するには、システムトレイの「ServiceController」アイコンをクリックします。ポップアップしたメニュー **Altova MobileTogether Server** をポイントし、(下のスクリーンショット参照)、MobileTogether Server サブメニューから「サービスの開始」(Start Service) を選択します。MobileTogether Server が既に作動している場合、サービスの開始(Start Service) オプションは無効化されます。



### MobileTogether Server の登録

- MobileTogether Server Web UI の設定タブ: (i) ServiceController を介して、MobileTogether を開始する *前述のポイント参照*。(ii) 構成ページアクセスするためのパスワードを入力する。(iii) 設定タブを選択する。(iv) ページ下の LicenseServer タブに移動する。LicenseServer 名またはアドレスを入力し、「LicenseServer により登録」(Register with LicenseServer)をクリックする。
- CLI の `licenseserver` コマンドを使用する  
**MobileTogetherServer licenseserver [options] ServerName-Or-IP-Address**  
 例えば、LicenseServer がインストールされているサーバー名 `localhost` の場合:  
**MobileTogetherServer licenseserver localhost**

### MobileTogether Server の登録(Linux)

Linux マシンでは、MobileTogether Server を LicenseServer に MapForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。MobileTogether Server は root 権限とともに開始されなければならぬことにご注意ください。

```
sudo /opt/Altova/MobileTogetherServer7.2/bin/mobiletogetherserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは `localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。

MobileTogether Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、[MobileTogether Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### MobileTogether Server の登録(macOS)

macOS マシンでは MobileTogether Server は LicenseServer を MobileTogether Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。MobileTogether Server は root 権限とともに開始されなければならぬことにご注意ください。

```
sudo /usr/local/Altova/MobileTogetherServer7.2/mobiletogetherserver licenseserver  
localhost
```

上記コマンドでは localhost は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーのIP アドレスを代わりに使用することもできます。

MobileTogether Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、[MobileTogether Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

## 6.6 RaptorXML(+XBRL) Server の登録

RaptorXML(+XBRL) Server サーバーは[ライセンスが割り当てられる](#)<sup>71</sup>前にAltova LicenseServer に登録される必要があります。登録の方法は以下の通りです。

### RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (Windows)

RaptorXML(+XBRL) Server をコマンドラインインターフェイスCLI を介し `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。

```
RaptorXML Server:      RaptorXML licenseserver Server-Or-IP-Address
RaptorXML+XBRL
Server:                RaptorXMLXBRL licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合 `http://localhost:8088`、RaptorXML(+XBRL) Server を以下で登録します。

```
RaptorXML Server:      RaptorXML licenseserver localhost
RaptorXML+XBRL
Server:                RaptorXMLXBRL licenseserver localhost
```

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[RaptorXML\(+XBRL\) Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは RaptorXML(+XBRL) Server を LicenseServer に RaptorXML(+XBRL) Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。RaptorXML(+XBRL) はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/RaptorXMLServer2021/bin/raptorxmlserver licenseserver localhost
sudo /opt/Altova/RaptorXMLXBRLServer2021/bin/raptorxmlxbmlserver licenseserver
localhost
```

上記コマンドでは `localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーのIP アドレスを代わりに使用することもできます。RaptorXML(+XBRL) Server 実行可能ファイルの場所および以下の通りです。

```
/opt/Altova/RaptorXMLServer2021/bin
/opt/Altova/RaptorXMLXBRLServer2021/bin
```

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[RaptorXML\(+XBRL\) Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (macOS)

macOS マシンでは RaptorXML(+XBRL) Server を RaptorXML(+XBRL) Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。RaptorXML(+XBRL) Server はルートの権限と共に開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /usr/local/Altova/RaptorXMLServer2021/raptorxmlserver licenseserver localhost
sudo /usr/local/Altova/RaptorXMLXBRLServer2021/raptorxmlxbrlserver licenseserver
localhost
```

上記コマンドでは localhost は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーのIP アドレスを代わりに使用することもできます。

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[RaptorXML\(+XBRL\) Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

## 6.7 StyleVision Server の登録

StyleVision Server は FlowForce Server の一部として、スタンドアロンのサーバー製品としてインストールすることができます。どちらの場合でも、Altova LicenseServer に登録されなければなりません。LicenseServer に登録された後のみ、LicenseServer からライセンスが割り当てられます。<sup>72</sup> Windows システムでは、StyleVision Server が FlowForce Server の一部としてインストールされる場合、FlowForce が登録される際自動的に登録されます。Linux システムでは、StyleVision Server が FlowForce Server の後にインストールされる場合のみ、FlowForce Server が登録される際に自動的に登録されます。FlowForce Server is registered.

### FlowForce Server からの StyleVision Server の登録 (Windows)

StyleVision Server は FlowForce Server にパッケージされており、FlowForce Server がネットワークの Altova LicenseServer に登録されている場合、StyleVision Server は自動的に LicenseServer に登録されます。FlowForce Server の登録方法は、ドキュメンテーションの [LicenseServer に FlowForce Server を登録する](#)<sup>52</sup> セクションに説明されています。

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[StyleVision Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### スタンドアロンの StyleVision Server の登録 (Windows)

StyleVision Server をスタンドアロンパッケージとしてインストールした場合、ネットワークの Altova LicenseServer に登録し、Altova LicenseServer からライセンスを与える必要があります。StyleVision Server をコマンドラインインターフェイス (CLI) 介して `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。

```
StyleVisionServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合、`http://localhost:8088`、StyleVision Server を以下で登録します：

```
StyleVisionServer licenseserver localhost
```

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[StyleVision Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### StyleVision Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、StyleVision Server を LicenseServer に StyleVision Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。StyleVision Server はルート権限とともに開始されなければならぬことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/StyleVisionServer2021/bin/stylevisionserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。StyleVision Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです：

```
/opt/Altova/StyleVisionServer2021/bin
```

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[StyleVision Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

### StyleVision Server の登録(macOS)

macOS では StyleVision Server は LicenseServer を StyleVision Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。StyleVision Server は root の権限と共に開始されなければならないことご注意ください。

```
sudo /usr/local/Altova/StyleVisionServer2021/stylevisionserver licenseserver localhost
```

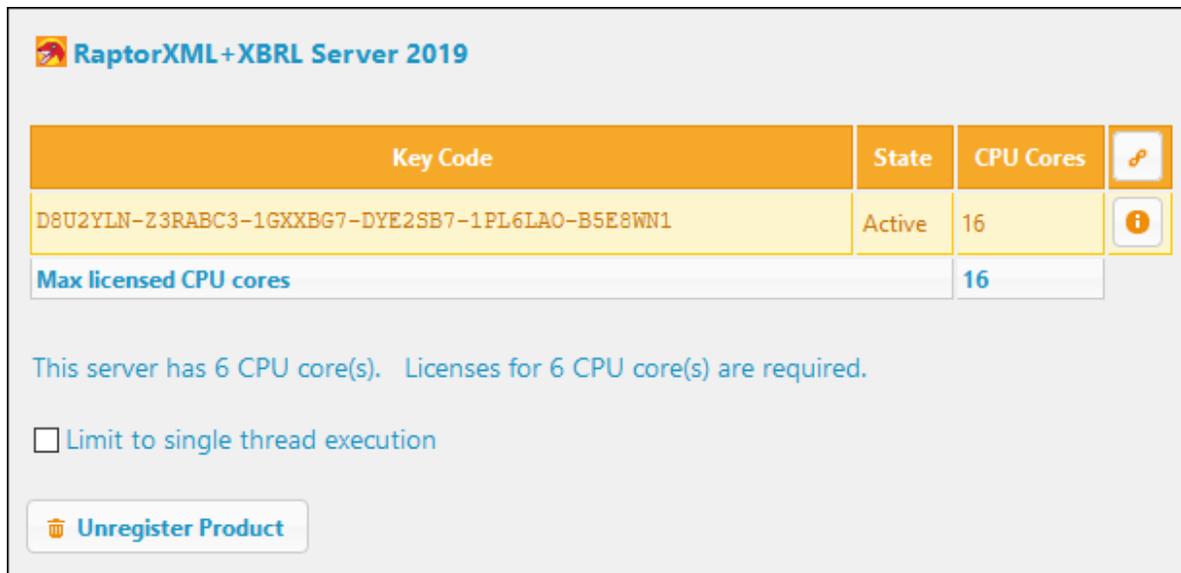
上記のコマンド内では `localhost` は LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動し、[StyleVision Server にライセンスを割り当てます](#)<sup>71</sup>。

## 6.8 製品の登録の解除

製品の登録を解除するには、以下を行います。

1. [クライアント管理タブ](#)<sup>82</sup> に移動します。
2. 登録済みのクライアントマシンと登録済みの製品をリストする左側のペインで、登録を解除する製品が存在するクライアントマシンを選択します。
3. 右側のペインで、登録を解除する製品の「製品の登録の解除」ボタンをクリックします（下のスクリーンショットを参照）。



Key Code	State	CPU Cores	
D8U2YLN-Z3RABC3-1GXXBG7-DYE2SB7-1PL6LAO-B5E8WN1	Active	16	

Max licensed CPU cores: 16

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

4. 表示される確認ダイアログ内で、「はい」(Yes)をクリックします。ライセンスが製品に割り当てられると、製品の登録が解除されると、割り当ては中断されます。

## 7 製品ライセンスのアップロードと認証

このセクションでは以下について説明されています:

- LicenseServer のライセンスプールに [ライセンスをアップロード](#)<sup>67</sup> する方法。
- ライセンスプール内で [ライセンスを有効化、または無効化する](#)<sup>68</sup> 方法。
- 異なる [ライセンスのステータス値](#)<sup>69</sup> の意味。

## 7.1 製品ライセンスの LicenseServer へのアップロード

Altova からライセンスファイル(ファイル拡張子 **.altova\_licenses**) の取得後、このファイルを Altova LicenseServer へこのファイルをアップロードするため適切な場所に保存します。購入に従い、各ライセンスファイル一つ、または複数のライセンスを含むことができます。ライセンスファイルをアップロードすると、全てのライセンスが LicenseServer のライセンスプールにアップロードされ、LicenseServer に登録されている Altova 製品に割り当てられることができます。1つまたは複数のライセンスファイルと、すべての Altova 製品のためにアップロードされているライセンスは LicenseServer 上のライセンスプール内に集められます。LicenseServer 構成ページのタブ内ライセンスプールは表示されます(下のスクリーンショット)。

The screenshot shows the Altova LicenseServer interface. At the top, there's a navigation bar with 'License Pool', 'Client Management', 'Client Monitoring', 'Settings', 'Messages(0)', 'Log Out', and 'Help'. Below this is a 'Licenses' section with a table of license entries. The table has columns: Status, Name, Company, Product, Edition, Version, Key Code, Bundle ID, Start Date, End Date, Expires in days, SMP days left, #, License Type, and Clients. One row is highlighted in yellow, representing a license for 'RaptorXML+X' with status 'running assigned'. Below the table are buttons for 'Activate', 'Deactivate', and 'Delete'. At the bottom, there's an 'Upload License File' section with a 'Browse...' button, the text 'No files selected.', and an 'Upload' button.

ライセンスファイルは、ライセンスプール(License Pool) タブの **ライセンスファイルのアップロード**(Upload License File) 機能を使用して、LicenseServer にアップロードされます(上のスクリーンショット参照)。「参照」(Browse) ボタンをクリックして希望するライセンスファイルを選択します。(アップロードするライセンスファイルは Altova からのライセンス電子メール内に添付として受信済みの **.altova\_licenses** ファイル拡張子を持つファイルを指します)。ライセンスファイルのアップロード(Upload License File) テキストフィールドにライセンスファイルが表示され、「アップロード」(Upload) ボタンが有効化されます。「アップロード」(Upload) ボタンをクリックしてライセンスファイルをアップロードします。ファイルの全てのライセンスは、アップロードされライセンスプールタブに表示されます。下のスクリーンショットは、複数のライセンスファイルからアップロードされ複数のライセンスを表示しています。

ステータスに関する詳細は、[ライセンスステータス](#)<sup>69</sup> を参照してください。

## 7.2 ライセンスの有効化/無効化

ライセンスを割り当てるには、ライセンスはアクティブまたは保留の状態である必要があります。(保留中のライセンスは将来の開始日があり、その開始日にアクティブになります)。その開始日を過ぎてもライセンスがアクティブでない場合(例えば、管理者により手動で無効化された場合など。詳細に関しては、[ライセンスの状態](#)<sup>69</sup>を参照してください)割り当てられる前に有効化される必要があります。

有効化されていないライセンスプールタブ内で有効化されます(下のスクリーンショット)。有効化されていないライセンスを選択して、(タブの下にある **Activate** (アクティブ化) ボタンをクリックします。

License Pool	Client Management	Client Monitoring	Settings	Messages(254)	Log Out	Help
Licenses						
<input type="checkbox"/>	Status	Name	Company	Product		
				All Products		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	FlowForce Server		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	MapForce Server		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	MapForce Server		
<input checked="" type="checkbox"/>	Active		altova	RaptorXML+XBRL Server		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	RaptorXML Server		

### 関連した情報

- ライセンスのステータスに関する詳細は、[ライセンスのステータス](#)<sup>69</sup>のセクションを参照してください。
- アクティブなライセンスを無効化するには、ライセンスを選択して、(タブの下にある)「無効化」(Deactivate) をクリックします。
- アクティブでないライセンスを削除するには、ライセンスを選択して、(タブの下にある)「削除」(Delete) をクリックします。
- ライセンスの有効化、無効化、削除に関する詳細は、[ライセンスプール](#)<sup>79</sup>のセクションを参照してください。

## 7.3 ライセンスの状態

ライセンスの状態値は以下の通りです:

- アクティブ化:** ライセンスが、LicenseServer のライセンスプールにアップロードされると、サーバーはライセンスに関連したデータを `altova.com` マスターライセンスサーバーに、検証、認証、与えられたライセンスをアクティブ化するために送信します。これは、Altova ライセンス使用許諾契約書への順守を確認するために必要です。通常 30 秒から数分かかる。初回アクティブ化と認証トランザクション中、インターネットの接続スピードとネットワークの交通量にもよりますが、ライセンスの状態はアクティブ化 (Activating...) と表示されます。
- 失敗した検証:** `altova.com` マスターライセンスサーバーへの接続が確立しなかった場合、プール内のライセンスの状態は失敗した検証 (Failed Verification) と表示されます。これは起こり得ることですので、インターネットの接続とファイアウォールのルールを確認して、LicenseServer が `altova.com` マスターライセンスサーバーと通信できるように確認してください。
- アクティブ化:** ライセンスが認証されてアクティブ化されると、状態はアクティブ (Active) に変更されます。
- 非アクティブ:** ライセンスが検証されが、ネットワークの他の LicenseServer に存在する場合、状態は非アクティブ (Inactive) と表示されます。非アクティブ状態は、管理者がライセンスプール内のライセンスを手動で非アクティブ化に設定した際におこります。
- 保留中:** ライセンスの開始の日付が未来の日付である場合、ライセンスは保留として表示されます。00:00 時に有効化ごタスクが変更されます。保留中ライセンスを製品に割り当て、作動中のクライアントプロセスが中断されることなく新規のライセンスへの譲渡が滞りなく行われることを保証します。
- ブロック済み:** (i) ライセンスの期限が切れている場合 (ii) ライセンスの認証に問題がある場合 および `altova.com` マスターライセンスサービスが このライセンスを使用する許可を与えていない場合ライセンスがブロック済みと表示されます。問題はライセンス使用許諾の違反、ライセンスの過剰使用、またはコンプライアンスの問題などにより引き起こされます。問題を解決すると、ライセンスを削除、再アップロード、再度アクティブ化します。追加情報に関しては下記を参照してください。

これらの状態は以下のテーブルにまとめられています:

状態	意味
有効化...	アップロードする際、ライセンスの情報は <code>altova.com</code> に検証のために送信されます。アップデータされた状態を確認するためにブラウザを更新してください。検証とアクティブ化は数分かかります。
失敗した検証	<code>altova.com</code> への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開するか、「Activate」ボタンを使用してライセンスをアクティブ化します。
アクティブ化	検証に成功し、ライセンスはアクティブ化されました。
非アクティブ	検証に成功しましたが、ライセンスがネットワークの他の LicenseServer に存在します。ライセンスは「Deactivate」ボタンにより非アクティブ化することができます。
保留中	保留中のライセンスには、開始と終了の日付が存在し、開始日にアクティブに切り替えられます。製品に割り当てることが出来、ライセンスの有効期限が切れる前に製品のライセンスの自動更新をおこなうことができます。
ブロックされた	検証が成功しませんでした。ライセンスは無効でブロックされています。ライセンスをブロックしている問題が解決されると、ライセンスを削除、再ロード、またはライセンスをアクティブに設定することができます。ライセンスが更新される都度、新規の検証を開始する Altova マスターサーバーに通信します。再度アップロードを行わない場合、ライセンスの検証は、計画されている Altova マスターサーバーとの通信まで保留になり、同日に発生しない場合があります。問題が継続する場合、 <a href="#">Altova サポート</a> に連絡してください。

**メモ** ライセンスが `altova.com` に検証のため送信された後、アップデートされた状態を確認するためブラウザを更新する必要があります。検証とアクティブ化は数分かかります。

**メモ** `altova.com` への接続が確立しない場合、状態は失敗した検証 (Failed Verification) と表示されます。接続を確立した後、への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開始するか、「Activate」ボタンを使用してライセンスをアクティブ化します。

**Note:** ライセンス状態が非アクティブまたはブロックされたと表示されている場合、ステータスを説明したメッセージがメッセージログに追加されます。

製品のインストールはアクティブな、または保留されているライセンスのみを割り当てることができます。非アクティブなライセンスはアクティブ化されるか、またはライセンスプールから削除することができます。ライセンスがライセンスプールから削除された場合、ライセンスファイルを再度アップロードすることでアップロードできます。ライセンスファイルがアップデートされると、プールに存在しないライセンスのみがアップロードされます。度アップロードされると、ライセンスプール内で準備されていないライセンスのみがライセンスプールに追加されます。ライセンスをアクティブ化、非アクティブ化、または削除するには、それぞれ「Activate」、「Deactivate」または「Delete」ボタンをクリックしてください。

## 8 製品ライセンスを割り当てる方法

このセクションは登録されている製品に製品ライセンスを割り当てる方法について説明されており、ライセンスの割り当てに関する情報が提供されています。

- [登録された製品へのライセンスの割り当て](#)<sup>72</sup>
- [ライセンスの割り当ての解除](#)<sup>75</sup>
- [割り当て済みのライセンスの編集](#)<sup>76</sup>

他の役に立つ情報

- [Altova ライセンスの種類](#)<sup>8</sup>
- [プロセッサコアとライセンス](#)<sup>10</sup>

## 8.1 登録された製品へのライセンスの割り当て

(i) (LicenseServer と ライセンスを供与する製品を登録した後 (ii) 割り当てるライセンスをアップロードすると登録済みの製品に以下のようライセンスを割り当てることができます:

1. [クライアント管理 タブ](#)<sup>82</sup> に移動し、左側のペイン内で、ライセンスをインストールする製品が存在するクライアント マンを選択します。
2. 右側のペイン内で、マンの [登録済みの製品](#)<sup>49</sup> を確認することができます。
3. 製品の割り当て済みのライセンスの編集 ボタンをクリックします。
4. 使用することのできるライセンスのリストから割り当てるライセンスを選択します(詳細については、下の [割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ](#)<sup>72</sup> を参照してください)。
5. 「変更の適用」をクリックします。

### 割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ

登録済みの製品にライセンスを割り当てると、その製品の「割り当て済みのライセンスの編集」ボタンをクリックします(上記のステップ 3)。これにより割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログが表示されます(下のスクリーンショット参照)。

**Edit Assigned Licenses**

**Product:** RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

**Registered at:** doc-aab

Requires licenses for 6 CPU cores Max licensed CPU cores: 16

Available licenses						
#	License Type	State	Key Code	Expires in days	SMP days left	
<input checked="" type="checkbox"/>	16 CPU Cores	Active	M2L0CMY-W78MP		336	<a href="#">i</a>

**Apply Changes** **Go to License Pool**

割り当てられているライセンスの編集について以下の点に注意してください!

- ライセンスされる製品はダイアログの上部左にリストされます。上部のスクリーンショットでは、製品は Altova RaptorXML+XBRL Server です。
- サーバーがインストールされているマン(上のスクリーンショットでは doc-aab )が横にリストされます。
- ダイアログは、ライセンスプールにあるその製品の現在アクティブなライセンスを表示します。スクリーンショットでは、現在アクティブなライセンスである、RaptorXML+XBRL Server ライセンスがライセンスプールにあります。(LicenseServer は自動的にライセンスが適用される製品を自動的に検知します)。
- ライセンスの種類は、コア (Mobile Together Server を含む Altova サーバー製品) または ユーザー (3.0 以前の Altova デスクトップ製品と Mobile Together Server バージョン) であることができます。[ライセンスの種類](#)<sup>8</sup> はライセンスの種類カラムに表示されています。上のスクリーンショット内のライセンスは 16 CPU コア分ライセンスされています。

- Altova サーバー製品がインストールされているサーバーのプロセッサコア数を把握する必要があります。マシンがデュアルコアプロセッサの場合、2 コア (CPU コア数) ライセンスが必要です。サーバー製品の登録に必要なコア数はマシンの名前の下にリストされています。ライセンスは必要とされるコア数をカバーする必要があります。ライセンスは必要とされるコア数をカバーする必要があり、必要とされるコア数に達成するためにライセンスを組み合わせることもできます。ですから、例えば マシンのプロセッサがオクタコア (8 コア) の場合、2 つの 4 コアライセンスを組み合わせることができます。割り当てられているライセンスの組み合わせされたコアのカウントは、コアの必要とされる数量より少ないコア数である必要があります。
- 割り当てられたライセンスの編集ダイアログは、その製品の現在アクティブなライセンスのみをリストします。他の Altova 製品のライセンスはリストされません。
- 既に割り当てられたライセンスに関しては、たとえば ネットワークでの製品の他のインストールは、チェックボックスがチェックされています。ですからチェックされていないライセンスのみが選択できます。
- # 列はクライアントに対して有効な CPU コア、または、ユーザーの数量 (古い Mobile Together Server の場合、Mobile Together Client の数量) を表示しています。

割り当てを希望するライセンスの選択。ライセンスチェックボックスがチェックされます。割り当てを希望するライセンスの選択。ライセンスチェックボックスがチェックされます。製品のライセンスされた CPU コア数がダイアログ上部左に最大限ライセンスされた CPU コア (Max licensed CPU コア) とリストされます (上部スクリーンショット参照)。ライセンスされた CPU コア数を増やした場合は更にライセンスを選択することができます。最大限ライセンスされた CPU コアはこの場合、選択されたすべてのライセンスのコア総数です。

ライセンスを選択した後、「変更を適用」(Apply Changes) をクリックします。製品に割り当てられたライセンスはクライアント管理タブに表示されます (下のスクリーンショット参照)。このスクリーンショットは Altova RaptorXML+XBRL に 16-CPU-コアライセンスが割り当てられたことを表示しています。

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
Max licensed CPU cores		16

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

## 単一スレッド実行

Altova サーバー製品が単一スレッドの実行を許可すると単一スレッドの実行を使用できるようになります。この場合、Altova サーバー製品ライセンスはライセンスプール内でコアのみ使用することができます。複数のコアを持つマシンはこのコアライセンスを割り当てることができます。このような場合、その製品を動作するマシンは単一コアで動作します。(マルチコアで使用可能な複数スレッドを使用できないため処理はこのために遅くなります。製品はそのマシン上で単一スレッドモードで実行されます。

マルチコアマシンに単一コアライセンスを割り当てるには、その製品のために LicenseServer 内で「単一スレッド実行に制限する」チェックボックスを選択してください。

### 関連した情報

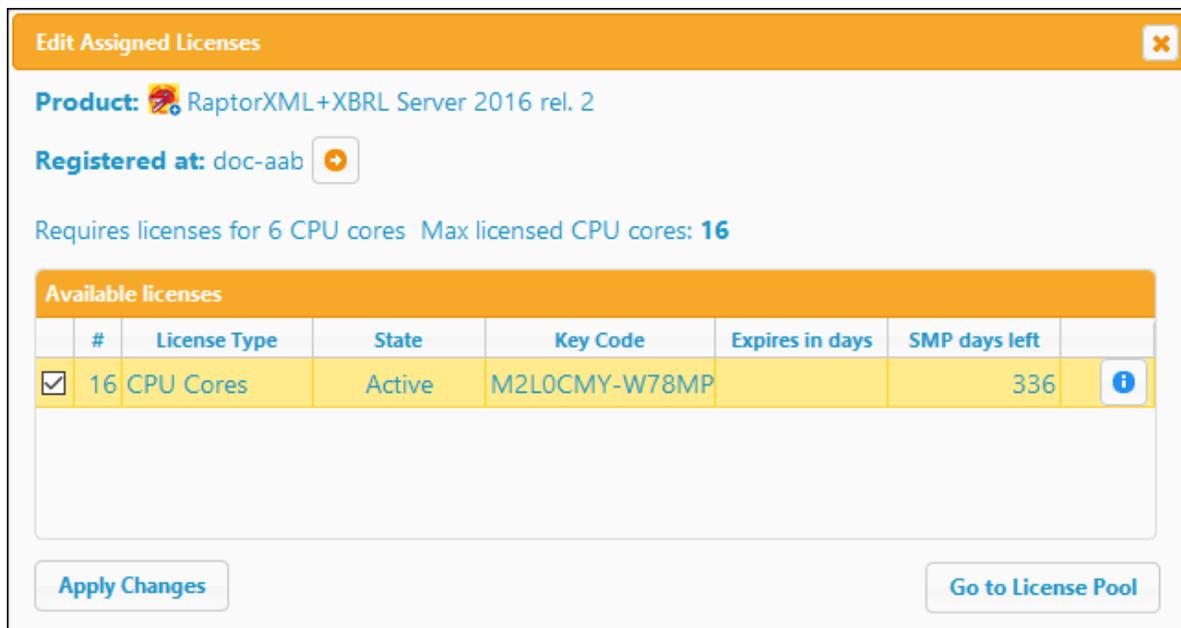
関連した情報のために下にリストされるトピックを参照してください！

- [Altova ライセンスの種類](#)<sup>8</sup>
- [プロセッサコアとライセンス](#)<sup>10</sup>

## 8.2 ライセンスの割り当ての解除

マシン上のソフトウェアインストールからライセンスの割り当てを解除するには、以下を行います。

1. [クライアント管理](#)<sup>82</sup> タブに移動します。
2. 左側のペインで、マシンを選択し、右側のペインで割り当てを解除するソフトウェアを選択します。
3. ソフトウェアの「割り当て済みのライセンスの編集」ボタンをクリックします。[割り当て済みライセンスの編集ダイアログ](#)<sup>72</sup> が表示されます(下のスクリーンショット参照)。



4. ライセンスの選択を解除します。
5. 「変更の適用」をクリックします。

## 8.3 割り当て済みのライセンスの編集

ライセンスが製品に割り当てられると、[クライアント管理](#)<sup>82</sup> タブを使用してライセンスの割り当てを解除することができます。

(右側) 製品ライセンスペイン内で(下のスクリーンショットを参照)(ライセンス情報を含むテーブルの右上にある)その製品の割り当て済みのライセンスの編集 ボタンをクリックします。

Key Code	State	CPU Cores	
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16	
Max licensed CPU cores		16	

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ(下のスクリーンショット)が表示されます。このダイアログはライセンスプール内にあるその製品のためのすべてのライセンスをリストし、左側の割り当て済みのライセンスのチェックボックスが選択されます。(下のスクリーンショットを参照)。

### Edit Assigned Licenses ✕

**Product:** RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

**Registered at:** doc-aab +

Requires licenses for 6 CPU cores Max licensed CPU cores: **16**

Available licenses						
	#	License Type	State	Key Code	Expires in days	SMP days left
<input checked="" type="checkbox"/>	16	CPU Cores	Active	M2L0CMY-W78MP		336

[Apply Changes](#) [Go to License Pool](#)

割り当てを解除するライセンスを選択し、「変更の適用」をクリックします。その製品に対してライセンスの割り当ては解除され、ライセンスを他の製品に対して使用することができます

## 9 構成ページ レファレンス

LicenseServer 構成ページ(またはWeb UI)はLicenseServer の管理者インターフェイスです。Web ブラウザー内でビューし、LicenseServer と LicenseServer に登録されているAltova 製品のライセンスを管理することができます。構成ページの開き方は [LicenseServer の構成ページの開きかた\(Windows\)](#)<sup>33</sup>、[LicenseServer の構成ページの開きかた\(Linux\)](#)<sup>41</sup> と [LicenseServer の構成ページの開きかた\(macOS\)](#)<sup>47</sup> のセクションで説明されています。のセクションで説明されています。

このセクションは構成ページのユーザーレファレンスが構成ページのタブにより整理されています:

- [ライセンスプール](#)<sup>79</sup>
- [クライアント管理](#)<sup>82</sup>
- [クライアントの監視](#)<sup>89</sup>
- [設定](#)<sup>90</sup>
- [メッセージ、ログアウト](#)<sup>99</sup>

LicenseServer を使用したライセンスの割り当てる方法の詳細に関しては、[製品ライセンスを割り当てる方法](#)<sup>71</sup>を参照してください。

**メモ** [LicenseServer 構成ページ](#)<sup>78</sup> はSSL をサポートしません。

## 9.1 ライセンスプール

ライセンスプールタブは以下の機能を提供します（下のスクリーンショット）：

- （ライセンスが保管されるデータベースである）LicenseServer のライセンスプールにライセンスファイル内のライセンスをアップロード。  
詳細に関しては [製品ライセンスのアップロードと認証](#)<sup>66</sup> を参照してください。
- ライセンスプール内に存在するライセンスに関する情報を表示します（下のスクリーンショットを参照）。
- ライセンスプール内に存在するライセンスを有効化、無効化、削除します（[詳細に関しては下記を参照してください](#)<sup>81</sup>）。

このページ上のアップロード ボタンを使用して、LicenseServer にライセンスファイルがアップロードされると、ライセンスファイル内に含まれているすべてのライセンスはLicenseServer 上のライセンスプールにアップロードされます。ライセンスプールタブによりLicenseServer 上で現在使用することができるすべてのライセンスの概要が表示されます。ライセンスが有効化されると、LicenseServer に登録<sup>49</sup>された製品に割り当てられ<sup>71</sup>ます。

このピックは(i) ライセンスプールタブ内で表示されている[ライセンスに関する情報の意味を説明し](#)<sup>79</sup> (ii) [ライセンスを有効化、無効化、削除](#)<sup>81</sup>する方法について説明しています。

### ライセンス情報

次のライセンス情報が表示されます：

- **状態**：以下の値であることができます：[アクティブ化](#) / [失敗した検証](#) / [アクティブ](#) / [非アクティブ](#) / [ブロックされた](#)。次を参照してください！ [ライセンスの状態](#)<sup>69</sup>。
- **名前、会社**：ライセンスの名前と会社名です。この情報は、購入の際に購入者により提供された情報を基としています。
- **製品、エディション、バージョン**：ライセンスされている製品のバージョンとエディションです。各列の一番上は、ライセンスをカテゴリ別でフィルターするドロップボックスです。
- **キーコード、バンドルID**：製品のロックを解除するライセンスキーです。単一のAltova MissionKit / バンドル内の全ての製品は、バンドルID同じを有しています。バンドルされていない製品には、バンドルID は存在しません。

- **開始日、終了日:** ライセンスの有効期限を示します。有効期限の無いライセンスは、終了日がありません。
- **有効期限日数、SMP (残りの日数):** ライセンスの有効期限が切れるまでの日数。ライセンスされている各購入には、特定の日数の間有効なサポート & メンテナンスパッケージが付随します。SMP 列は、有効な SMP 日数を表示しています。
- **#、ライセンスの種類:** # 列内にリストされている許可されているユーザーまたは CPU コアの数量です。ライセンスが管理するユーザーまたはコアが **ライセンスの種類** 列で表示されます (詳細に関しては [Altova ライセンスの種類](#)<sup>8</sup> を参照してください)。 [Altova デスクトップ製品](#)<sup>8</sup> の場合、ユーザー (同時実行ユーザーライセンスの場合はマシンユーザー、名前が付けられているユーザーライセンスの場合は名前の付けられているユーザー) をベースライセンス割り当てられています。Altova サーバー製品の場合は、CPU コアをベースライセンス割り当てられています ([プロセッサコアとライセンス](#)<sup>10</sup> を参照してください)。
- **クライアント:** この列の情報は製品がデスクトップ製品、またはサーバー製品であるかにより異なり、違いは以下で説明されるとおりです。デスクトップ製品の場合、ユーザーカウントとマシンカウントが提供されます。サーバー製品の場合、以下が示されています: (i) 割り当て済みのライセンスは割り当て済みにより示されています。 (ii) 作動中のサーバー製品によりライセンスが使用されている場合、**作動中** が表示されます。この列内のアイコンをクリックすると実行されるアクションは [以下で説明される](#)<sup>80</sup> とおりです。

#### デスクトップ製品のためのクライアント情報

- デスクトップ製品に与えられているユーザーアカウントとマシンアカウント。
- **マシンカウント** は割り当て済みのライセンスの数量を示しています。例えば、7/10 マシンは 10 台の ([マシンユーザー、または名前が付けられたユーザー](#)<sup>8</sup>) クライアント上でソフトウェアをインストールすることが許可されており 7 台のクライアントにライセンスが割り当てられていることを意味します。
- **ユーザーカウント** は現在作動している ([マシンユーザー、または名前が付けられたユーザー](#)<sup>8</sup>) クライアントの数量を示しています。例えば、3/10 ユーザーは許可されている 10 人のユーザーのうち 3 人によりライセンスが使用されていることを示しています。
- **ユーザーカウントとマシンカウント** はともに与えられているライセンスの現在のライセンス供与能力と使用状況を示しています。例えば、マシンカウントが 7/10 の場合、そしてユーザーカウントが 3/10 の場合、以下を情報を知ることができます: (i) 10 台のマシン上で、またはインストール済みのユーザーライセンスの場合 10 名のユーザーに対して名前が付けられているユーザーライセンス ソフトウェアの使用が許可されています。 (ii) 7 台のマシン (または 7 名のユーザー) に対してソフトウェアがライセンスされています。 (iii) 7 つのライセンス供与済みのソフトウェアのインストール中、3 つのソフトウェアのインストールが現在作動しています。異なるライセンスの型に関する情報に関しては [Altova ライセンスの種類](#)<sup>8</sup> を参照してください。
- この列内に表示されるアイコンに関する情報は [下](#)<sup>80</sup> を参照してください。

#### サーバー製品のためのクライアント情報

- ライセンスが割り当て済みかを表示します。割り当てられている場合、割り当て済み が表示されています。それ以外の場合、フィールドは空です。
- ライセンスが製品のインストールに割り当てられている場合、そして、インストールが現在作動している場合、(割り当て済みに加え) **作動中** が表示されます。それ以外の場合フィールドは割り当て済み のみを含みます。
- この列内に表示されるアイコンに関する情報は [下](#)<sup>80</sup> を参照してください。

### ライセンスプール(License Pool) タブのアイコン

-  **Altova MissionKit ロゴ。** デスクトップ製品ライセンスが [MissionKit ライセンス](#)<sup>8</sup> の一部である場合、Altova デスクトップ製品名の横に表示されます。MissionKit License の一部である製品ライセンスが特定のユーザーに割り当てられている場合、MissionKit バンドル内の他の製品ライセンスのすべてが同じユーザーに割り当てられます。
-  **割り当てられたクライアントの表示。** 割り当てられたライセンスのクライアント列内に表示されます。クライアントの登録されている製品のライセンスを管理する [クライアント管理](#)<sup>82</sup> タブに移動します。
-  **実行中のクライアントの表示。** 現在作動中のソフトウェアに割り当てられているライセンスのクライアント列内に表示されます。ソフトウェアを作動しているクライアントマシンの [クライアントの監視](#)<sup>82</sup> に移動します。ここで、選択されたクライアントと登録されたソフトウェアが表示されます。
-  **情報の表示。** 割り当てられていないライセンスのクライアント列内に表示されます。ユーザーの人数、ライセンスがライセンスバンドルの一部であるか等のライセンスに関する情報を表示します。

### ライセンスのアクティブ化、非アクティブ化、および削除

ライセンスをアクティブ化、非アクティブ化、または削除する場合、左側のチェックボックスがチェックされるようにライセンスを選択します。「アクティブ化」、「非アクティブ化」、または「削除」を必要に応じてクリックします。

以下の点に注意してください！

- アクティブではないライセンスをアクティブ化し、アクティブではないライセンスをアクティブ化することができます。
- アクティブではないライセンスのみを削除することができます。これは、アクティブなライセンスが削除する前に非アクティブ化されなければなりませんことを意味します。
- ライセンスが削除されると、ライセンスプールから削除されます。
- 削除済みのライセンスと削除済みのライセンスを含むライセンスファイルをアップロードすることにより、ライセンスプールに再度追加することができます。ライセンスファイルが再度アップロードされると、ライセンスプール内で準備されていないライセンスのみがライセンスプールに追加されます。ライセンスプール内に既存のライセンスは再度追加されません。

## 9.2 クライアント管理

クライアント管理タブ(下のスクリーンショット)はLicenseServerに登録されているすべてのクライアント(マシユーザーと名前が付けられているユーザー)の概要を提供します。各クライアントに関しては、登録済みの製品が表示されており、登録済みの製品のライセンスを管理することができます。製品とクライアントの登録を解除することができます。

The screenshot shows the Altova LicenseServer interface. The top navigation bar includes 'License Pool', 'Client Management', 'Client Monitoring', 'Settings', 'Messages(0)', 'Log Out', and 'Help'. The main content area is divided into two panes. The left pane, titled 'Registered Clients', contains a table with columns 'Address', 'User', and 'Registered Products'. The right pane displays details for a selected client, 'RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2', including a table of license keys with columns 'Key Code', 'State', and 'CPU Cores'. Below the table, there is a note: 'This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.' and a checkbox for 'Limit to single thread execution'.

クライアント管理タブは2つのペインに分割されています:

- 登録済みのクライアント: 左側のペインは [LicenseServer に登録済みの](#)<sup>49</sup> Altova 製品が一つでも存在するネットワーク上のクライアント(マシユーザーと名前が付けられているユーザー)のリストをテーブルで示しています。このようなクライアントは登録済みのクライアントと呼ばれます。各登録済みのクライアントは、登録済みの製品と共に左側のペインにリストされています。このペイン内の表示は、フィルターを選択、または、ペインの列の一つの上にフィルターを入力して行うことができます。
- 製品のライセンス: これは右側のペインです。登録済みのクライアントが左側(登録済みのクライアント)ペインで選択されているとクライアントの登録済みの製品が右側のペイン内でライセンスの詳細が表示されます。ここで各登録済みの製品のライセンスを管理することができ、また、[製品とクライアントの登録を解除することができます](#)<sup>67</sup>。更に、サーバー製品ライセンスを1コアのみ使用するようこのペインでセットアップすることができます。[単一スレッドの実行](#)<sup>85</sup>を参照してください。

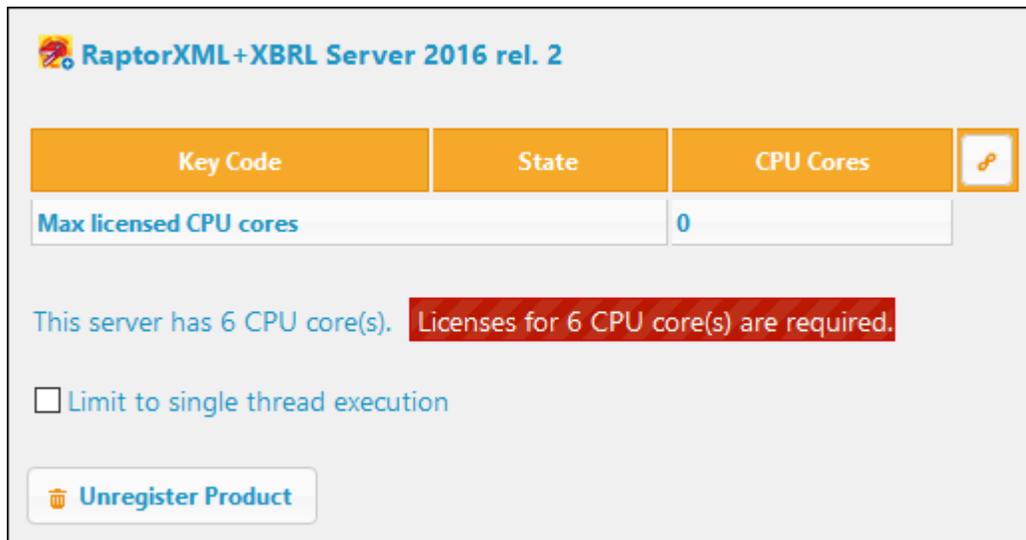
### クライアント管理タブを理解する

クライアント管理タブに関して以下の点に注意してください!

- 左側のペイン内で、各登録済みクライアントは登録済みの製品と共に表示されています。上のスクリーンショットの(左側のペイン内) LicenseServer に登録されている3つの製品がある1つのクライアントが存在することが示されています。異なるクライアントマシン上でAltova 製品がこのLicenseServer に登録されている場合、登録済みの製品も左側のペインに表示されます。
- 左側のペイン内でクライアントマシンを選択すると、クライアントの登録済みの製品のライセンスの詳細が右側ペイン内に表示されます。ここで、各製品のライセンスの割り当てを編集することができます。
- (右側)製品ライセンスペイン内各登録済みの製品が、ライセンスのキーコードを取る、キーコードエトリとして表示されます。割り当て済みのライセンスの編集 ボタンをクリックして、ライセンスプール内でその製品に使用することのできる必要なライセン

スを選択することにより、登録済みの製品はライセンスに割り当てられます。手続きの詳細に関しては [ライセンスの割り当て](#)<sup>83</sup> を参照してください。

- サーバー製品は、そのクライアント上の製品を動作するために必要なコア数が表示されます。ライセンスされたコアの数が必要なコア数より少ない場合、情報は赤色で表示されます（下のスクリーンショットを参照）。（ライセンス供与に必要な CPU コアの数量はそのクライアント上の物理的な CPU コアの数量であり、LicenseServer によりクライアントマシンから取得されます。）



- 単一のデスクトップ製品の複数のバージョン（例えば、XMLSpy 2018 および XMLSpy 2019）が一つのマシンにインストールされており、これらのインストールが単一の LicenseServer に登録されている場合、クライアント管理タブ内で複数の登録は単一の登録に結合され、単一の登録として表示されます。ライセンスが単一の登録に割り当てられると、その登録により示されるインストールに対してライセンスが供与されます。これらのインストールの複数のインスタンスのみが同時に動作することができます。例えば、XMLSpy 2018 の複数のインスタンス、または XMLSpy 2019 の複数のインスタンスは同時に動作することができますが、XMLSpy 2018 の一つのインスタンスと XMLSpy 2019 のインスタンスは同時に動作することができません。

## 9.2.1 ライセンスの割り当て

### クライアント管理タブ内のアイコン



割り当てられたライセンスの編集。製品のリストで使用することができます。新しいライセンスを製品に割り当てることのできる、すでに割り当てられたライセンスを編集できる [割り当てられたライセンスの編集](#)<sup>83</sup> がポップアップします。



ライセンスの表示。ライセンスが表示されます。[License Pool タブ](#)<sup>79</sup> に切り替えができ、選択されたライセンスをハイライトすることによりライセンスの詳細がわかります。



製品の登録解除。（選択されたクライアントマシン上の）各製品で利用可能です。選択された製品を LicenseServer から削除することができます。[製品の登録解除](#)<sup>37</sup> を参照してください。クライアントとその全ての製品の登録解除を行うには、ペインの上の「クライアントとその全ての商品の登録を解除する」(Unregister client and all products) をクリックしてください。

### 登録済みの製品にライセンスを割り当てる方法

（右側）製品ライセンスペイン内で登録済みの製品にライセンスを割り当てるには、（下のスクリーンショットを参照）その製品の「割り当て済みのライセンスの編集」ボタンをクリックします（アイコンに関しては、上のセクションを参照してください）。

**RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2**

Key Code	State	CPU Cores
Max licensed CPU cores		0

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

[Unregister Product](#)

割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ (下のスクリーンショット) が表示されます。ダイアログはライセンスプール内のその製品のためのすべてのライセンスをリストしています。ライセンスが割り当てられると (下のスクリーンショットで示されるとおり) 左側のチェックボックスが選択されます。ライセンスを使用できる場合、チェックボックスは選択されません。

**Edit Assigned Licenses**

**Product:** RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

**Registered at:** doc-aab

Requires licenses for 6 CPU cores Max licensed CPU cores: **16**

Available licenses						
#	License Type	State	Key Code	Expires in days	SMP days left	
<input checked="" type="checkbox"/>	16 CPU Cores	Active	M2L0CMY-W78MP		336	<a href="#">i</a>

[Apply Changes](#) [Go to License Pool](#)

割り当てるライセンスを選択し、「変更の適用」(**Apply Changes**) をクリックします。ライセンスは、その製品に割り当てられ、クライアント管理タブの製品のライセンスタブ内に表示されます (下のスクリーンショット参照)。

RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
Max licensed CPU cores		16

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

### 単一スレッドの実行

ライセンスプール内でコアのみのために Altova サーバー製品ライセンスを使用することができる場合、複数のコアを持つマシンを1つのコアライセンスに割り当てることができます。このような場合、マシンはその製品を単一のコアで作動します。(マルチコアでは可能な) 複数のスレッドを使用することができないため、処理は遅くなります。製品はそのマシン上で単一スレッドモードにて実行されます。

単一コアのライセンスを複数のコアのマシンに割り当てるときは、その製品のために単一スレッド実行に制限 チェックボックスを選択します。

**Mobile Together Server (MTS)** の場合、MTS コアライセンスのために単一スレッド実行が選択されている場合、一台のモバイルデバイスのみが Mobile Together Server に同時接続することができます。この場合、2台目のデバイスが Mobile Together Server に接続すると、2番目のデバイスがそのライセンスを引継ぎます。最初のデバイスが接続することができなくなり、この影響のためエラーメッセージを受け取ります。

## 9.2.2 評価ライセンスのリクエスト

30 日間使用が無料の評価ライセンスを、LicenseServer に登録されているインストール済みの Altova サーバー製品のそれぞれのために取得することができます。(右側) 上にある [製品のライセンス](#) <sup>82</sup> 評価ライセンスのリクエスト ボタンをクリックします(下のスクリーンショットを参照)。

**メモ** サーバー製品のためこのみ LicenseServer を介して評価ライセンスを取得することができます。デスクトップ製品に関しては、使用中のデスクトップ製品のソフトウェアライセンス認証ダイアログを介して評価ライセンスをリクエストすることができます。

 Request evaluation licenses
 Unregister client and all products

---

 **RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2** 

Key Code	State	CPU Cores	
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16	
<b>Max licensed CPU cores</b>		<b>16</b>	

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

 Unregister Product

(クライアントマシン上の) LicenseServer に登録されている Altova 製品のリストを含むダイアログが表示されます。評価ライセンスを必要とする製品がチェックされ選択されていることを確認し、登録フィールドに記入し、リクエストを送信します。30 日間有効な評価ライセンスが含まれる電子メールを Altova から受信します。サーバー製品に関しては、リクエストが送信された時点で製品が必要とする有効なコア数が含まれます。ライセンスをディスクに保存して、[ライセンスプールにアップロードします](#)<sup>79</sup>。

### 9.2.3 製品とクライアントの登録の解除

登録済みのクライアントの登録済みの製品は(右側) [製品のライセンス](#)<sup>82</sup> 内にリストされています(下のスクリーンショットを参照)。

The screenshot shows the 'Products' section of the LicenseServer interface. At the top, there are two buttons: 'Request evaluation licenses' and 'Unregister client and all products'. Below them, the product 'RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2' is listed with a plus icon. A table shows the following details:

Key Code	State	CPU Cores	
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16	
Max licensed CPU cores		16	

Below the table, a message states: 'This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.' There is a checkbox for 'Limit to single thread execution' which is currently unchecked. At the bottom, there is a button labeled 'Unregister Product'.

- LicenseServer に登録されている各 Altova 製品が右側のペイン(製品のライセンスでクライアント名の下に表示されます。「製品の登録解除」(Unregister Product) ボタンがエントリの下に表示されています。LicenseServer から製品の登録を解除するためこのボタンをクリックします。製品にライセンスが割り当てられている場合、割り当ては、製品の登録が解除されると解消されます。
- (Unregister client and all products) ボタンをクリックしてください(このセクションの最初のスクリーンショットを参照してください)。

#### 製品の再登録

製品を再登録するには、最初に [製品を登録](#)<sup>49</sup> の際と同じステップに従ってください。

### 9.2.4 異なる名前でも登録されている1台のマシン

Altova 製品が LicenseServer に登録されると、クライアントマシンは LicenseServer に自動的に登録されます。クライアントマシンが LicenseServer に一度以上登録されると、マシンはクライアント管理タブで複数の名前でも表示される。すなわち複数のエントリと共に表示される可能性があります。これは、マシンのホスト名が前の登録とは異なる書式を与えられている場合に発生する可能性があります。

2つの状況が引き起こされます:

- 異なる名前でも同じマシンに割り当てられているため、同じ製品に対して複数のライセンスが割り当てられます。
- 1つのライセンスが複数回、複数のマシン名で単一のマシン上の製品に割り当てられています。

これらのシチュエーションの発生を回避するために、[製品とクライアントの登録の解除](#)<sup>87</sup> 内で説明されている余分のクライアントマシンの登録を解除します。

### マシン名の形態

クライアント管理タブ内でとれるマシン名のフォームが以下にリストされています:

- ドメイン名を持つホスト名 (完全修飾されたドメイン名、FQDN) 例: "win80-x64\_1.my.domain.com" または "Doc3.my.domain.com"。これはドメイン情報を持つ、または 持たない) マシンのホスト名が LicenseServer に登録するために使用される licenseserver CLI コマンドの引数として与えられた場合に発生します。例:  
<AltovaServerProduct> licenseserver Doc3. これは以下を含む FQDN を作成します:  
Doc3.my.domain.com.  
  
FQDN は、また localhost が Windows 7 と 10 システム上でホスト名として与えられた場合に生成されます。
- ドメイン名を持たないホスト名。例: "win80-x64\_1" または "Doc3"。これは、Windows 8 システム上で localhost がマシン名として与えられた場合、発生します。
- localhost. 一部の場、localhost は、マシン名として表示されます。

**メモ** Windows マシンに Altova サーバー製品をインストール中、マシンが自動的に LicenseServer に登録される場合、localhost がインストーラーマシン名として使用されます。

#### VPN を介して LicenseServer へ接続

クライアントマシンが仮想プライベートネットワーク (VPN) サービスを介してネットワークに接続する場合、クライアントマシンは、動的に IP アドレスを割り当てられ、接続の都度、異なるマシンとして識別されるようになります。この結果により発生する問題を解決方法については、[ネットワーク情報](#)<sup>12</sup> を参照してください。

## 9.3 クライアントの監視

クライアントの監視 タブにより選択されたクライアントマシンの概要を確認することができます。このタブは2つのカテゴリ内のクライアントに関する情報を表示します:

- チェックアウト済みのクライアントと
- 作動中のクライアント

### チェックアウト済みのクライアント

XMLSpy または MapForce などの [Altova デスクトップ製品](#)<sup>8</sup> のエンドユーザーは、LicenseServer に登録されているライセンスをチェックアウトすることができます。クライアントが特定の期間オフラインになることが想定される場合にチェックアウトします。マシンがオフラインの期間、ライセンスを LicenseServer (クライアントにより) からチェックアウトすることができます。この期間、Altova デスクトップ製品を LicenseServer に連絡を取ることなく使用し続けることができます。[ライセンスのチェックアウト](#)<sup>19</sup> を参照してください。

現在チェックアウトされているライセンスとユーザーは、チェックアウト期間とクライアントとチェックアウトに関する他の情報と共に、チェックアウトこのヘディングの下のモニタリングタブ内にリストされています。

### 作動中のクライアント

このセクションは、ライセンス供与済みの製品が現在作動中のクライアント (マシユーザーと名前を持つユーザー) をリストします。デスクトップ製品の場合、作動中の製品は既に開始されている製品です。サーバー製品の場合、サーバーが開始されている場合、製品は作動します。製品の複数のインスタンスが作動中の場合、それぞれのインスタンスがリストされます。

Running Clients								
Product	Edition	Version	User	Address	State	Failover	Last seen (seconds ago)	
RaptorXML+XBRL Serv		2016 rel. 2	DOBRA	doc-aab	Running		8	
XMLSpy	Enterprise Editic	2016 rel. 3	adoc	doc-aab	Running		11	

### クライアントの監視タブ内のアイコン



[ライセンスの表示](#)。製品のインスタンスに表示されます。[ライセンスプール](#)<sup>79</sup> タブに切り替えができ、選択された製品のインスタンスがハイライトされることによりライセンスの詳細がわかります。



[クライアントの管理](#)。各製品のインスタンスに表示されます。[クライアント管理](#)<sup>82</sup> タブに切り替えができ、選択された製品のインスタンスをハイライトします。

## 9.4 設定

「設定」タブは複数のペインから構成されており、それぞれのペインにはLicenseServer と作業する多数の観点のための設定が含まれています。LicenseServer パスワードのリセットなどの単純な管理者タスクから、電子メールの通知設定およびネットワーク設定とフェールオーバー（冗長な）サーバーの構成などの特別なタスクなどの設定が含まれています。

各ペインの設定はこのセクションのサブセクション内で説明されています:

- [メンテナンス](#)<sup>90</sup>
- [フェールオーバーLicenseServer 設定](#)<sup>91</sup>
- [LicenseServer パスワード](#)<sup>93</sup>
- [接続チェック](#)<sup>93</sup>
- [ライセンスのチェックアウト](#)<sup>93</sup>
- [Web UI](#)<sup>94</sup>
- [プロキシサーバー](#)<sup>95</sup>
- [ライセンスサービス](#)<sup>95</sup>
- [通知メール](#)<sup>96</sup>
- [その他](#)<sup>98</sup>

**メモ** タブの最後のペイン内で設定を変更した後、最後のペインの下の「保存」をクリックします（このペイン内の設定が変更されると、保存されるまで効果は反省されません）。

### 9.4.1 メンテナンス

この設定によりLicenseServer がシャットダウンするまでの時間を設定することができます。通常サーバーシャットダウンはサーバーのメンテナンスのために実行され、Altova デスクトップ製品を起動するクライアント上の作業を保存するために使用されます。

**Maintenance**

Shutdown LicenseServer in:  🔴 Shutdown 🟡 Abort Shutdown

**Please note:** The shutdown is delayed by the amount of time you choose above in order to allow running desktop clients to save their work. Therefore the LicenseServer will shutdown as soon as no desktop client is running or the time has expired.

To allow all clients to run during the whole maintenance period of the LicenseServer, please configure a Failover LicenseServer below. In this case the LicenseServer will shutdown as soon as the Failover LicenseServer has taken over.

以下の点に注意してください:

- 選択されるシャットダウンタイムはシャットダウンするまでの最長時間です。LicenseServer がデスクトップ製品を起動するクライアントに接続されていない場合、LicenseServer は早くシャットダウンします。
- 「シャットダウン」(Shutdown) をクリックするとシャットダウンのカウントを開始されます。
- シャットダウンをキャンセルするには「シャットダウンの中断」(Abort Shutdown)をクリックします。

メモ LicenseServer シャutdown中にクライアントの作動を有効化するには、[フェールオーバー LicenseServer](#)<sup>17</sup> を構成します。

## 9.4.2 フェールオーバー LicenseServer 設定

プライマリの LicenseServer が使用できないような場合、2番目の LicenseServer がプライマリの LicenseServer を引き継ぐように構成することができます。この番目の LicenseServer は「フェールオーバー LicenseServer」(Failover LicenseServer) と呼ばれ、フェールオーバー LicenseServer 設定ペイン内で構成されます (下のスクリーンショット)。

### Failover LicenseServer Settings

To reduce the risk of an unavailable LicenseServer you can configure a second LicenseServer as a backup or "Failover LicenseServer".  
In the event that the Primary LicenseServer becomes unavailable a Failover LicenseServer can take over.

#### LicenseServer Mode

Primary LicenseServer

Failover LicenseServer

**Please note:** The Failover LicenseServer periodically synchronizes all licenses, registered clients and license assignments from the Primary LicenseServer. Whenever a Failover LicenseServer takes over from a Primary LicenseServer any changes to these items made on the Failover LicenseServer during this period will be lost as soon as the Primary LicenseServer regains control. Other settings such as Proxy Server and Mail settings are independently set in each server and are not synchronized.

This is a Failover LicenseServer for the LicenseServer at [kubu6.altova.com](#)  
Last seen 2/5/2015, 11:56:04 AM

フェールオーバー LicenseServer を書きの設定を使用して構成するには、フェールオーバー LicenseServer の仕組みに関する概要に関しては、[一般的な情報](#)<sup>7</sup> セクション内の [フェールオーバー LicenseServer](#)<sup>17</sup> を参照してください。

### フェールオーバー LicenseServer の構成

LicenseServer をネットワーク上で作動する LicenseServer のフェールオーバー LicenseServer としてセットアップするには、以下を行います。

1. LicenseServer をインストールセクション内で説明されている通りにインストールします。
2. LicenseServer のモードに対応するラジオボタンをクリックして *フェールオーバー LicenseServer* に設定します (上のスクリーンショット参照)。(デフォルトでは LicenseServer モードは *プライマリ LicenseServer* に設定されています)。

- 表示される「プライマリLicenseServer の検索」ダイアログ内で(下のスクリーンショット) フェールオーバーLicenseServer とバックアップするプライマリLicenseServer を入力します。2つの方法を使用して行うことができます: (i) 「LicenseServer の検索」(Search for LicenseServers)をクリックして、ドロップダウン内から、検知されたLicenseServers のリストからバックアップするLicenseServer を選択します。(ii) 「手動でアドレスを入力」(Manually Enter Address) をクリックして、(URL ではなく ホスト名 または IP アドレス) バックアップするLicenseServer のアドレスを入力します。プライマリLicenseServer を入力後、「プライマリLicenseServer へ接続」(Connect to Primary LicenseServer) をクリックします。



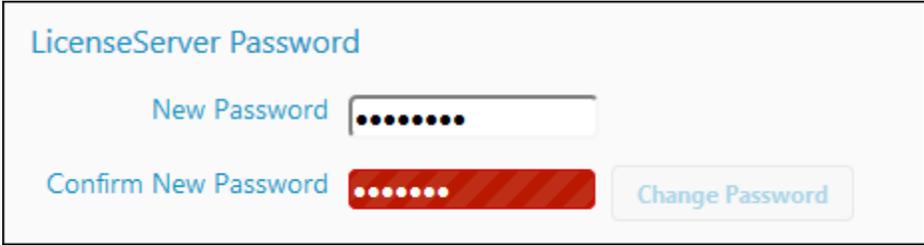
- 現在のLicenseServer を(選択された)プライマリLicenseServer のフェールオーバーLicenseServer に設定するかを確認する確認ダイアログが表示されます。確認する場合、「はい」(Yes) をクリックします。確認を続行すると、現在のLicenseServer 上でインストール済みのライセンスと登録済みのクライアントは削除されることにご注意してください。

フェールオーバーLicenseServer の構成後、プライマリLicenseServer とフェールオーバーLicenseServer に関しては構成ページの上で状態に関する情報が表示されます。上の2つのスクリーンショットでは、フェールオーバーLicenseServer が最初に表示され、プライマリLicenseServer が表示されます。



### 9.4.3 LicenseServer パスワード

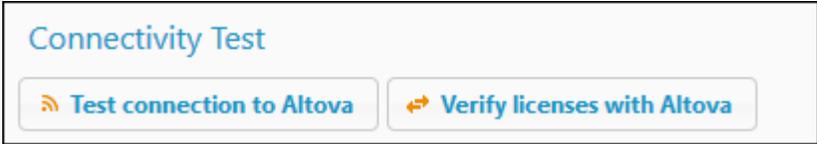
LicenseServer にログインするためのパスワードをリセットすることができます。



設定する新規のパスワードを入力し、「パスワードの変更」(Change Password) をクリックします。「New Password」フィールド内で入力が一致するまで、「Confirm New Password」フィールドが赤字で表示されます (スクリーンショットの参照)。

### 9.4.4 接続のテスト

「Altova への接続のテスト」(Test Connection to Altova) をクリックして Altova への接続性をテストすることができます (下のスクリーンショットを参照)。設定を変更すると、接続をテストする前にタブの下の「保存」(Save) ボタンをクリックして新規の設定を保存する必要があります。



テスト中に「Altova への接続のテスト」(Test Connection to Altova) ボタンが無効化さえ、テストが完了すると再度有効化されます。

「Altova とライセンスの検証」(Verify licenses with Altova) をクリックしてライセンスプール内に現在存在するライセンスを検証することもできます。変更が検知されると、メッセージ内に表示されます。

### 9.4.5 ライセンスのチェックアウト

Altova デスクトップ製品がインストールされているマシンライセンスプールからデスクトップライセンスがチェックアウトできるかを選択することができます。これを許可するには、LicenseServer から取得されたライセンスを持つクライアントがこのライセンスをチェックアウトすることができ、この設定内で指定されている最長期間中にモニターされていないことが条件です。チェックアウトのために許可されている最長の期間は30日間です。(旅行などで LicenseServer へのアクセスが不可能な場合、または LicenseServer モニタリングが技術的な観点から必要とされない場合でも Altova デスクトップ製品の使用を継続することが可能となります。) Altova デスクトップアプリケーションの「ヘルプ | ソフトウェアのアクティベーション」(Help | Software Activation) コマンドを使用してチェックアウトを行うことができます。

### License checkout

Allow license checkout from this LicenseServer.

Checked-out clients can be used for not more than  without contact to this LicenseServer.

Overview of all currently checked out clients is in [Client Monitoring](#) page.

LicenseServer 内のこの設定により以下を行うことができます:

- ライセンスのチェックアウトを有効化します。
- 許可するチェックアウトの最大の日数を指定します。

ライセンスのチェックアウト後、[クライアントのモニター](#)<sup>89</sup> タブのチェックアウト済みのクライアント セクションに移動されます。チェックアウト済みのライセンスは、使用中とみなされ、ネットワーク上の他のクライアントで使用することはできません。

## 9.4.6 Web UI

Web UI 設定 (下のスクリーンショット) は Web UI (または、[構成ページ](#)<sup>78</sup>) のためのネットワークアクセスを指定します。接続を暗号化または非暗号化することを指定することができます。また、Web UI にアクセスしているインターフェイスに従い接続を暗号化または無効化することを設定することも可能です。通常、所属機関のネットワーク内部からアクセスする場合、暗号化されていない接続を使用し、所属機関の外部のネットワークからアクセスする際に暗号化された接続を使用します。下のスクリーンショットで表示されている設定は同じマシンからアクセスされる場合暗号化されていない接続をセットアップし、その他すべてのマシンからのアクセスに対しては暗号化された接続をセットアップします。

[http](#) プロトコルを介して暗号化されていないアクセスを作成することができますが、暗号化されたアクセスは [https](#) を使用して作成されます。

### Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

- All interfaces and assigned IP addresses
- Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

- Dynamically chosen by the operating system
- Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

- Web UI のための許可されているIP アドレスは以下であることができます: (i) そのマシンの全てのインターフェイスとIP アドレスまたは (ii) 固定されたアドレス。
- 暗号化された接続に関する詳細は、[SSL 暗号化](#)<sup>93</sup> のセクションを確認してください。

デフォルトの設定により、LicenseServer が接続されるネットワーク内からのLicenseServer とその構成ページへの制約されていないアクセスを許可します。LicenseServer へクライアントが持つアクセスを制限する場合、許可する設定を入力して、「保存」(Save) をクリックします。

[接続チェック](#)<sup>93</sup> を作動して、設定が正確に設定されているかチェックします。

## 9.4.7 プロキシサーバー

インターネットに接続するためプロキシサーバーが使用されている場合、プロキシサーバーペイン内プロキシサーバーの詳細が入力される必要があります(下のスクリーンショット)。インターネットへのアクセスがプロキシサーバー無しで行われている場合、プロキシサーバーの設定は空白のまましておくことができます。

### Proxy Server

Configure the proxy server connection details if a proxy server is needed to communicate with Altova's servers.

Hostname

Port Number  If the port number is left blank the default port 1080 will be used.

User Name

Password  Leave the user name and password blank if no authentication is required.

LicenseServer がプロキシサーバーを使用するよう構成するには、プロキシサーバーのホスト名を入力し、必要であれば、ポート番号を入力します。プロキシサーバーが認証を必要としない場合、「ユーザー名とパスワード」パスワードフィールドを空白のままにすることができます。必要とする設定を入力後、「保存」(Save) をクリックします。設定の正確性を確認するために [接続チェック](#)<sup>93</sup> を行います。

## 9.4.8 ライセンスサービス

License Server がインストールされているマシンは、1つまたは複数のネットワークインターフェイスを介して接続することができます。各ネットワーク上で、License Server マシンは、のホスト名とIP アドレスとして知られています。ライセンスサービスの設定によりどのネットワーク上でライセンスサービスを使用できるか構成することができます(下のスクリーンショットを参照)。

## License Service

Configure the host addresses where the LicenseServer service is available to clients.

- All interfaces and assigned IP addresses
- Local only (localhost)
- Only the following hostnames or IP addresses:

Ensure the hostnames or IP addresses exist or LicenseServer will fail to start!

- localhost オプションはサービスをローカルマシン上でのみ許可します。
- ホスト名およびまたはIP アドレスをリストする場合、スペースの無いコマンド区切り記号を使用してください(例: hostname1, IPAddress1, hostname2)。
- サービスのポート番号は35355 に固定されています。

変更後、設定が反映されるため「保存」(Save) にをクリックします。接続チェックを実行して、設定の正確性をチェックしてください(上を参照)。

### 9.4.9 通知メール

通知メールを、重要な LicenseServer イベントが発生すると指定された電子メールアドレスに送信することができます。重要なイベントのサンプルは以下の通りです: Altova LicenseServer は altova.com サーバー(マスターLicenseServer) に接続されている必要があります。24\*5 時間(5 日間)以上接続が中断されると、(your) LicenseServer はライセンスを許可しません。この結果、LicenseServer にライセンスされている Altova 製品とのセッションは、中断される可能性があります。管理者は接続の中断を通知するために、電子メールアドレスに通知メールを送信することができます。また LicenseServer は24 時間ごとに altova.com にあるマスターLicenseServer に通信します。

通知メール設定は管理者電子メールアドレスに通知メールを送信するための構成を定義します(下のスクリーンショットを参照)。

### Alert Mail

Configure email settings for communication with administrator.

SMTP Host

SMTP Port

User authentication

User password

From

To

- SMTP ホスト と SMTP ポート は通知電子メールが送信される電子メールサーバーのアクセスの詳細です。
- ユーザーの認証とユーザーパスワードはユーザーの電子メールサーバーへのアクセスのための資格です。
- 送信者フィールドは電子メールが送信される電子メールからの電子メールアドレスのアドレスを取ります。
- 宛先フィールドは宛先の電子メールアドレスを取ります。
- [その他ペイン](#)<sup>98</sup> 内の警告電子メールの送信オプションも電子メールの設定を使用しています(このオプションの詳細に関しては [その他ペイン](#)<sup>98</sup> forを参照してください)。

「保存」(Save) を完了時にクリックします。通知メール設定を保存すると、altova.com への通信が失われた場合など、重要なイベントが発生すると、指定されたアドレスから通知メールが送信されます。[メッセージング](#)<sup>99</sup> 内にこのようなイベントは記録され、確認することができます。

### 警告メールを引き起こすイベント

以下のイベントが発生すると警告メールが送信されます:

#### ライセンス

- altova.com からのライブアップデートメッセージ
- 有効期限の警告(全ての製品に対して60日)

#### サーバーの状態

- Altova への接続が失われました
- Altova への接続が再構築されました
- アップグレードが必要です
- シャットダウン

#### クライアントセッション (WebUI)<sup>94</sup> を使用して構成されます

- クライアントへの接続が失われました
- クライアントへの接続が再構築されました

#### フェールオーバー LicenseServer

- 有効化済み
- 無効化済み

- シャットダウン

## 9.4.10 その他

その他のペインは役に立つかもしれない追加機能を提供します(下のスクリーンショット)。これらの設定の変更後 **Save** をクリックします。

Miscellaneous

Show hint how to receive evaluation licenses for a server product

Send a warning email if contact with a running product is lost.

### 評価ライセンスの受け取りとデプロイに関するヒントを表示する

このボックスをチェックすると構成ページの上に評価ライセンスを評価しデプロイする短い説明が表示されます(上のスクリーンショット参照)。

### 作動中の製品とのコンタクトが失われたら警告メールを送信する

ライセンス供与済みの製品とのコンタクトが失われると送信元アドレスから宛先アドレスの警告メッセージが送信されます。

「警告電子メールの送信」オプションは、LicenseServer とクライアントマシン上で作動するライセンス供与済みの製品間のコンタクトがタイムアウトする都度電子メールの送信をオン/オフに切り替えることができます。タイムアウトは、クライアントからサーバーへの接続の間が変更することのできない定義済みの間隔を超えた場合、タイムアウトは発生します。(接続は常にクライアントから開始されることにご注意してください)例えば、デスクトップ製品クライアントの場合、この定義済みの間隔は1分です。クライアントが最後の通信時から1分以上通信を取らない場合、接続はタイムアウトし、電子メール通知が送信されます。接続が再構築され、他のタイムアウトが発生すると、もう一度電子メール通知が送信されます。結果、ネットワーク上で問題が発生している場合、多数の電子メール通知が送信される可能性があります。この場合、「警告メッセージの送信」オプションをオフに切り替えます。このオプションはLicenseServer とクライアント間のコンタクトのみに関連することにご注意してください。LicenseServer とaltova.com にあるマスターLicenseServer 間の接続は関連しません。オプションがオフに切り替えられている場合でも、マスターLicenseServer との喪失された接続に関する電子メールの通知は送信されます。

## 9.5 メッセージ、ログアウト

「メッセージ」(Messages) タブはLicenseServer のライセンスプール内のライセンスに関連したすべてのメッセージを表示します。各メッセージには「削除」(Delete) があり、特定のメッセージを削除することができます。

「ログアウト」(Log Out) タブはログアウトボタンとして機能します。タブをクリックすることにより、すぐにログイン画面が表示されます。

# インデックス

## A

Altova LicenseServer,  
(LicenseServer を参照してください), 6  
Altova ServiceController, 16

## D

DiffDog Server,  
LicenseServerと登録する方法, 51  
DiffDog Server を LicenseServer と登録する方法, 51

## F

FlowForce Server,  
LicenseServer に登録, 52  
FlowForce Server を LicenseServer に登録, 52

## I

IP アドレス設定, 94

## L

LicenseServer,  
DiffDog Server を登録する方法, 51  
FlowForce Server を登録, 52  
LicenseServer への切り替え, 17  
Linux の開始, 40  
Linux へのインストール, 37  
Linux 上でのインストールとセットアップLinux  
上でのインストールとセットアップ, 36  
macOS へのインストール, 44  
macOS 上でのインストールとセットアップmacOS  
上でのインストールとセットアップ, 43  
MapForce Server を登録, 57  
MobileTogether Server の登録, 59

RaptorXML(+XBRL) Server と登録する方法, 61  
StyleVision Server を登録, 63  
Windows へのインストール, 30  
Windows 上でのインストールとセットアップ, 29  
インターフェイス, 78  
シャットダウン, 17, 90  
デスクトップ製品を登録する, 50  
のために冗長をセットする, 17  
プロキシサーバーを介してのインターネットへのアクセス,  
95  
ライセンスの割り当て, 71  
ライセンスプール内でのライセンスの検証, 93  
構成, 90  
構成ページ, 78  
製品の再登録, 8  
製品の登録, 49  
接続のテスト, 93  
設定, 90  
複数の異なるライセンスの種類, 8  
LicenseServer のインストールと開始 (Linux), 36  
LicenseServer のインストールと開始 (macOS), 43  
LicenseServer のインストールと開始(Windows), 29  
LicenseServer のための接続のテスト, 93  
LicenseServer のバックアップ, 17  
LicenseServer の更新, 20  
LicenseServer パスワードリセット, 93  
LicenseServer への VPN 接続, 12  
LicenseServer 構成ページ,  
(構成ページを参照), 78  
(構成ページ参照), 33, 41, 47  
LICSVR ファイル, 15  
Linux インストールとセットアップ,  
LicenseServer のインストール, 37  
LicenseServer の開始, 40

## M

macOS インストールとセットアップ,  
LicenseServer のインストール, 44  
MapForce Server,  
LicenseServer に登録, 57  
MapForce Server を LicenseServer に登録, 57  
MissionKit ライセンス, 8  
MobileTogether Server,  
LicenseServer に登録する方法, 59  
MobileTogether Server の登録, 59

## O

OpenSSL, 23

## R

RaptorXML(+XBRL) Server,

LicenseServer に登録する方法, 61

RaptorXML(+XBRL) Server を LicenseServer と登録する方法, 61

## S

server.cfg, 26

ServiceController, 16

SSL のための証明書, 23

SSL 暗号化, 94

LicenseServer 内で有効化, 26

証明書の取得, 23

SSL暗号化, 23

StyleVision Server,

LicenseServer に登録, 63

StyleVision Server を LicenseServer に登録, 63

## W

Web UI,

構成ページを確認, 94

Windows インストールとセットアップ,

LicenseServer のインストール, 30

## Z

アクティブな/非アクティブなライセンス, 69

インストール済みのユーザーライセンス, 8

クライアントの IP アドレス, 12

クライアントのホスト名,

VPN を使用した接続, 12

とクライアントの IP アドレス, 12

ネットワーク情報, 12

クライアントの登録の解除, 87

クライアントマシンの監視, 89

クライアント管理タブ, 82

クライアント接続の中断に関する警告, 98

コアとライセンス, 10

サーバー管理タブ, 72

サーバー構成ファイル, 26

デスクトップ製品,

LicenseServer に登録する方法, 50

デスクトップ製品を LicenseServer に登録する, 50

デフォルトのパスワード, 33

パスワード,

リセット, 93

開始のデフォルト, 33

パスワードのリセット, 22

パスワードをリセットする, 22

フェールオーバー LicenseServer, 17, 90

フェールオーバー LicenseServer 設定, 91

プロキシサーバー設定, 95

プロセッサコアとライセンス, 10

ブロックされたライセンス, 69

マシン名, 87

メッセージ, 99

メンテナンスシャットダウン, 90

ライセンス, 67

アップロードと認証, 66

ライセンスのアップロード, 67

割り当て, 72

製品への割り当て方法, 83

中央サーバー上の Altova 製品, 15

有効化, 68

ライセンスチェックアウト, 19

ライセンスとコア, 10

ライセンスのチェックアウト, 19, 93

ライセンスの割り当て, 71, 72

ライセンスの種類,

インストール済みのユーザー, 8

同時実行ユーザー, 8

名前を持つユーザー, 8

ライセンスの状態, 69

ライセンスの有効化, 68

ライセンスプール, 67

ライセンスプールタブ,

説明, 79

ライセンスプール内のライセンス,

ライセンス認証, 79

ライセンス認証の無効化, 79

- ライセンスプール内のライセンス,
  - 削除, 79
- リモートデスクトップ, 8
- リモートの製品の使用, 15
- ログアウト, 99
- 暗号化,
  - SSL 暗号化を参照, 23
- 暗号化された接続, 23
- 仮想のデスクトップ, 8
- 仮想マシン,
  - インストールされている製品へのライセンス供与, 8
- 管理者インターフェイス, 78
- 構成ファイル, 26
- 構成ページ, 78
  - (Linux) の URL, 41
  - (macOS) の URL, 47
  - IP アドレス設定, 94
  - Linux で開く, 41
  - macOS で開く, 47
  - Windows で開く, 33
  - の URL, 33
  - 暗号化された接続設定, 94
  - 構成ページ, 94
- 失敗した検証ライセンスステータス, 69
- 証明機関, 23
- 新規の LicenseServer,
  - ライセンスの移動, 21
- 新規の LicenseServer へ移動する方法, 21
- 製品,
  - ライセンスの割り当て, 83
- 製品にライセンスを割り当てる, 83
- 製品の再登録, 8
- 製品の登録の解除, 65, 87
- 製品ライセンス,
  - チェックアウトの方法, 93
- 接続のプロシージャ, 12
- 設定, 90
- 単一スレッドの実行, 83
- 中間証明書ファイル, 23
- 中断されたクライアントに関する電子メールでの警告, 98
- 通知メール,
  - サーバーイベント, 96
  - 管理者への送信, 96
  - 設定, 96
- 登録,
  - 複数の名前を持つマシンの問題, 87
- 登録と登録の解除,
  - クライアントマシンと LicenseServer, 49
  - 製品と LicenseServer, 49
- 同時実行ユーザーライセンス, 8
- 評価ライセンス, 85
- 評価ライセンスのヒント, 98
- 評価ライセンスのリクエスト, 85
- 複数の名前を持つマシンの登録の解除, 87
- 保留されたライセンス, 69
- 名前付きユーザーライセンス, 8